資料3

事故ゼロプラン及び
事故危険箇所について

令和8年2月

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

目次

0. 幹線道路における交通安全対策の概要
1. 第3期事故ゼロプランの取り組み
1)第3期事故ゼロプランの概要
2)効果検証結果
①国道4号　奥州市前沢区古城【折居交差点】
②国道45号　下閉伊郡山田町大沢
③国道45号　久慈市新井田第3地割～夏井町鳥谷第7地割【久慈道路】
3)事故ゼロプランの今後のスケジュール
2. 事故危険箇所の取り組み
1)事故危険箇所の概要
2)事故危険箇所の効果検証【全体評価】
3)事故危険箇所の効果検証【個別評価】
①国道4号　十二神交差点
②国道4号　本宮交差点
③国道45号　緑ヶ丘交差点
④国道45号　大船渡市立根町字堰口～字堀之内
4)事故危険箇所の今後のスケジュール

0. 幹線道路における交通安全対策の概要

国土交通省

事故ゼロプラン　事故危険箇所

- **事故ゼロプラン**（事故危険区間重点解消作戦）では、**岩手県独自の指標で事故危険区間を選定**し、地方公共団体等の指摘や学識経験者・関係者からなる委員会（本会議）から意見を聴取した上で選定している。
- **事故危険箇所**は、**全国統一の抽出基準で指定**される箇所であり、第5次社会資本整備重点計画では、令和7年に「幹線道路の事故危険箇所における死傷事故抑止率約3割（令和元年比）」という目標を掲げている。

	事故ゼロプラン （事故危険区間重点解消作戦）	事故危険箇所
抽出基準	岩手県独自	全国共通
対象とする道路	国管理道路	国・県管理道路
具体的な目標	–	概ね5年間での事故抑止率約3割
主な特徴	「市民参加・市民との協働」をキーワードとしており、地方公共団体等の指摘や学識経験者・関係者からなる委員会（本会議）から意見を聴取した上で選定している。	全国統一の抽出基準で指定される箇所。事故率や地域要望・損保協会の事故多発地点※1に選定された箇所などを元に選定している。

※一般社団法人　日本損害保険協会が交通事故交通事故の防止・軽減を目的として、都道府県ごとに人身事故件数ワースト5交差点の特徴や件数の多い事故類型の主な要因・予防策等をHP上で公表しているもの。
URL：https://www.sonpo.or.jp/about/useful/kousaten/2024/index.html

1．1）第3期事故ゼロプランの概要

- 事故ゼロプランとは、交通安全分野における成果を上げるマネジメントの取組みで、**岩手県内独自の指標をもとに事故危険区間を抽出**し、安全対策を実施している。
- 対策後はその効果を評価し、PDCAのマネジメントサイクルにより、逐次改善を図る。

■ 事故ゼロプラン更新の経緯

【事故危険区間の選定のポイント】

1．事故の危険性が高い区間を選定
事故データや地域の声等に基づき選定

⇒ 岩手県で162区間を選定（H22年度）
（学識者、関係者等からなる委員会から意見を聴取）

2．事故ゼロプランの見直し
最新の事故データ等で定期的に見直しを実施

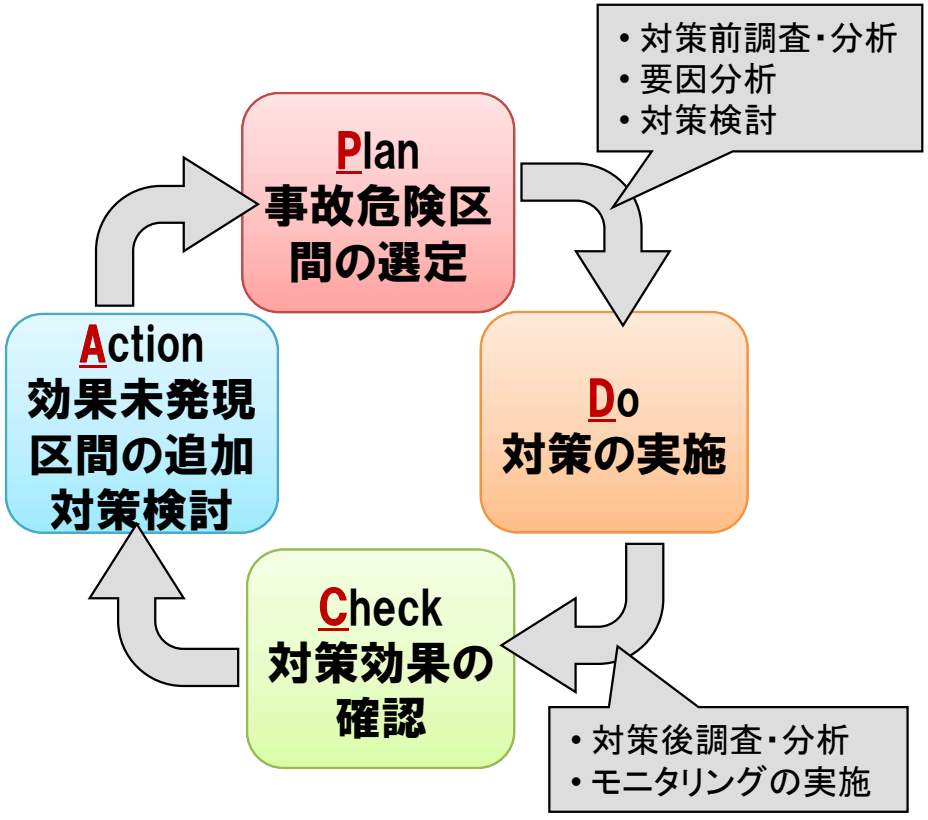
⇒ 143区間を見直し選定（H28年度）

⇒ 66区間を見直し選定（R5年度）

【情報の共有化】
パンフレットやHPで利用者に危険箇所を認識してもらうことで事故削減にも期待

■ PDCAのマネジメントサイクル

H22年度より開始し、H28年度に更新、
令和5年度より**3巡目**



1．1）第3期事故ゼロプランの概要

- 第３期事故ゼロプラン「事故危険区間」は、前回同様の選定基準により、**66区間**を選定
- 岩手河川国道事務所管内（国道4号、46号）：**48区間**
- 三陸国道事務所管内（国道45号）：**11区間**
- 南三陸沿岸国道事務所管内（国道45号）：**7区間**

■ 事故危険区間の選定結果

（１）事故データ※から見た危険区間
～事故発生状況からの抽出～

【選定基準】
① 死傷事故の発生率が高い区間
　死傷事故率　　：100件/億台km以上　かつ
　死傷事故件数　：8件/4年以上
② 重大事故（死亡・重傷事故）の発生率が高い区間
　死傷事故率　　：100件/億台km以上　かつ
　重大事故率　　：10件/億台km以上　かつ
　死亡事故率　　：1件/億台km以上

①：岩手県独自の選定基準
②：事故危険箇所に準ずる選定基準

（２）潜在的な危険区間
～事故発生可能性からの抽出～

③ 地元・道路利用者からの交通事故の危険性の指摘区間
○ 自治体・交安協・警察・その他団体
○ 道路利用者に対するアンケート・ヒアリング調査
・自動車の走行環境に関する指摘
（「カーブ・勾配がきつくて危険」等）
・歩行者・自転車の通行環境に関する指摘
（「歩道が無い・歩道の幅が狭くて危険」等）

③：岩手県独自の選定基準

事故危険区間【66区間】

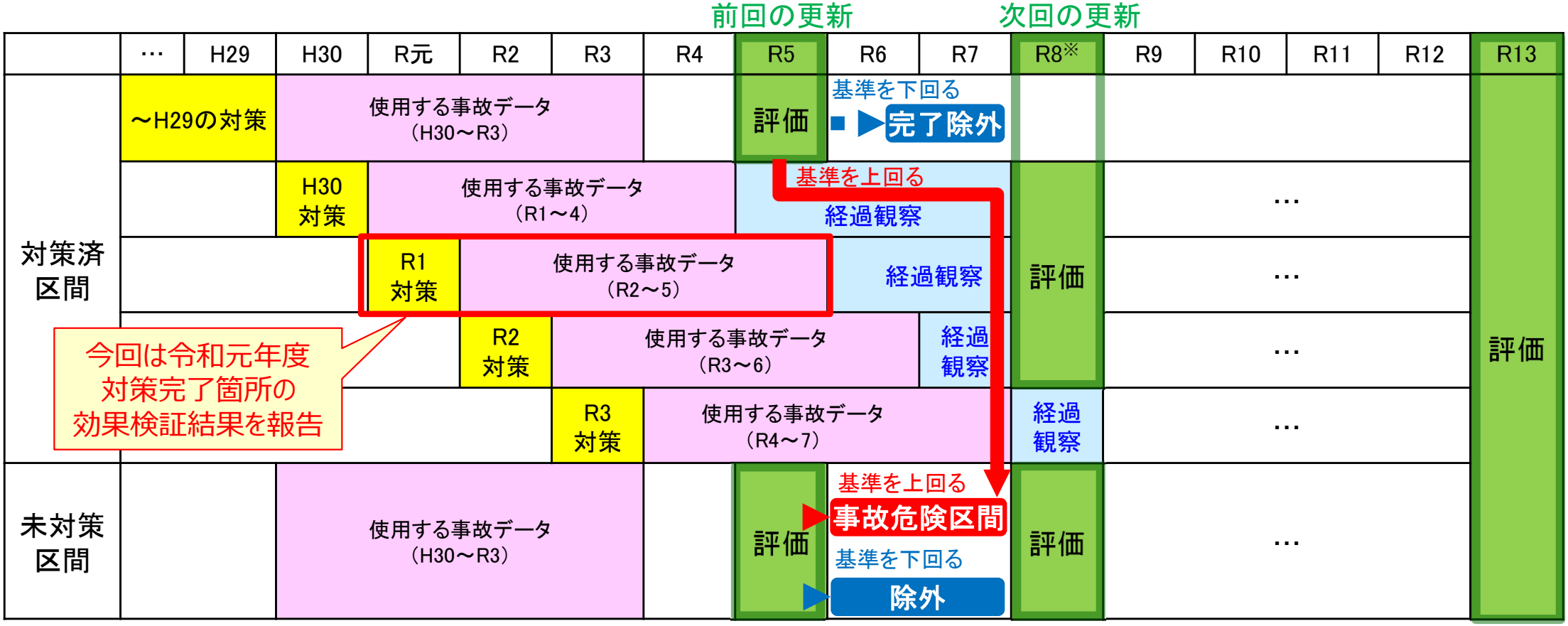
岩手：48区間、三陸：11区間、南三陸：7区間

※H30～R3事故データ（交通事故統合データ）を使用

1．1）第3期事故ゼロプランの概要

- 第３期事故ゼロプランはR5年度に位置づけ。**次回はR8年度に更新**。その後は原則５年ごとに更新。
- 今回は、**令和元年度対策完了箇所**について、**効果検証結果を報告**。

- 「事故ゼロプラン（事故危険区間）」の更新は、**「社会資本整備重点計画」に合わせて実施※**。
  ⇒「社会資本整備重点計画」にて指定された**「事故危険箇所」も事故ゼロプランに位置付け**。
- 更新時に事故危険区間の選定基準を上回る区間は、**未対策区間として新規追加**。
- 対策後、**評価可能な事故データ（4年分）が蓄積された更新時期に、評価を実施**。

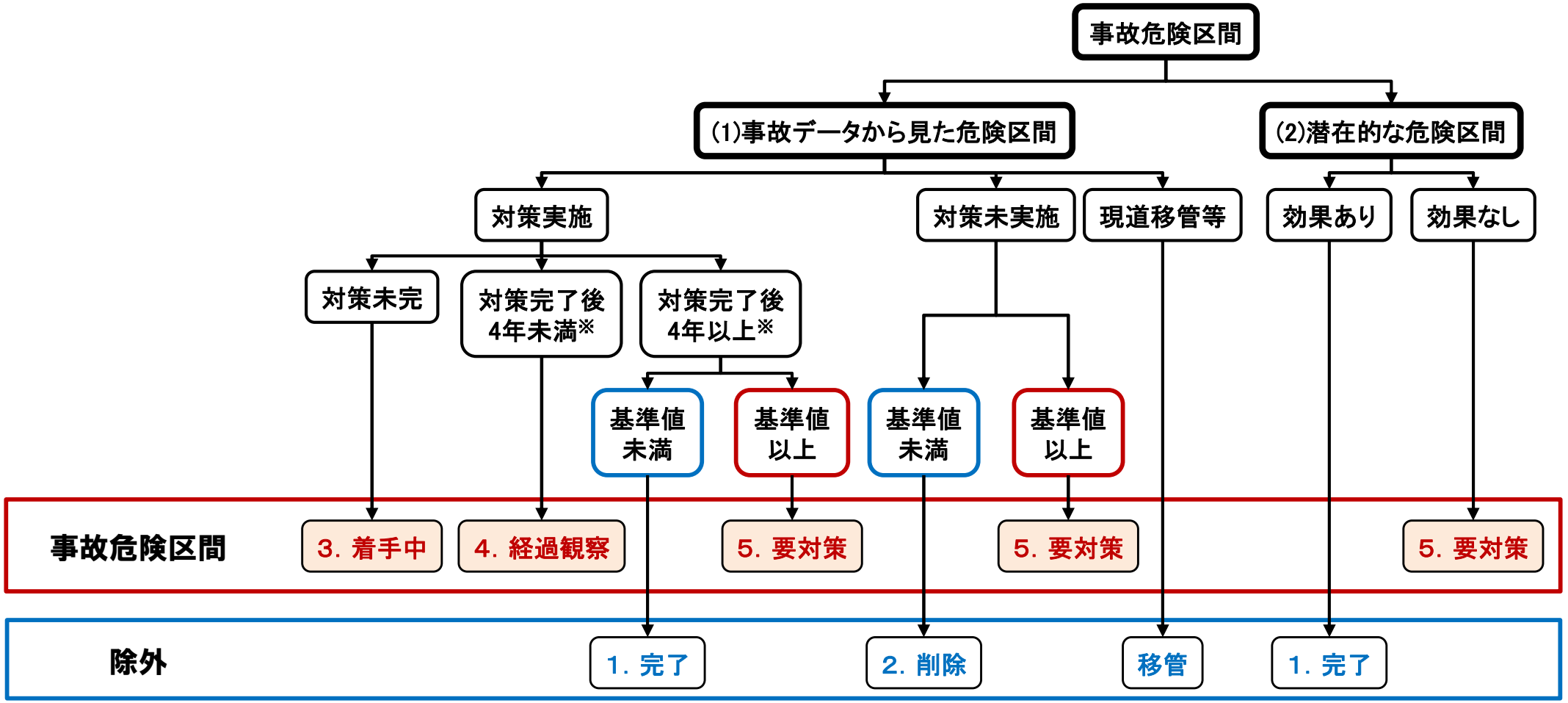


※ 令和4年3月に指定された「第5次事故危険箇所」を今回の更新に併せて事故ゼロプランに位置付けし、次期更新は「第6次社会資本整備重点計画」の閣議決定を踏まえR8年度とする。その後は、原則5年ごとに更新する。

1．1）第3期事故ゼロプランの概要

（１）**事故データから見た危険区間：選定時と同様の基準値により評価。**死傷事故データで評価できない区間は経過観察として、次回更新時に評価。

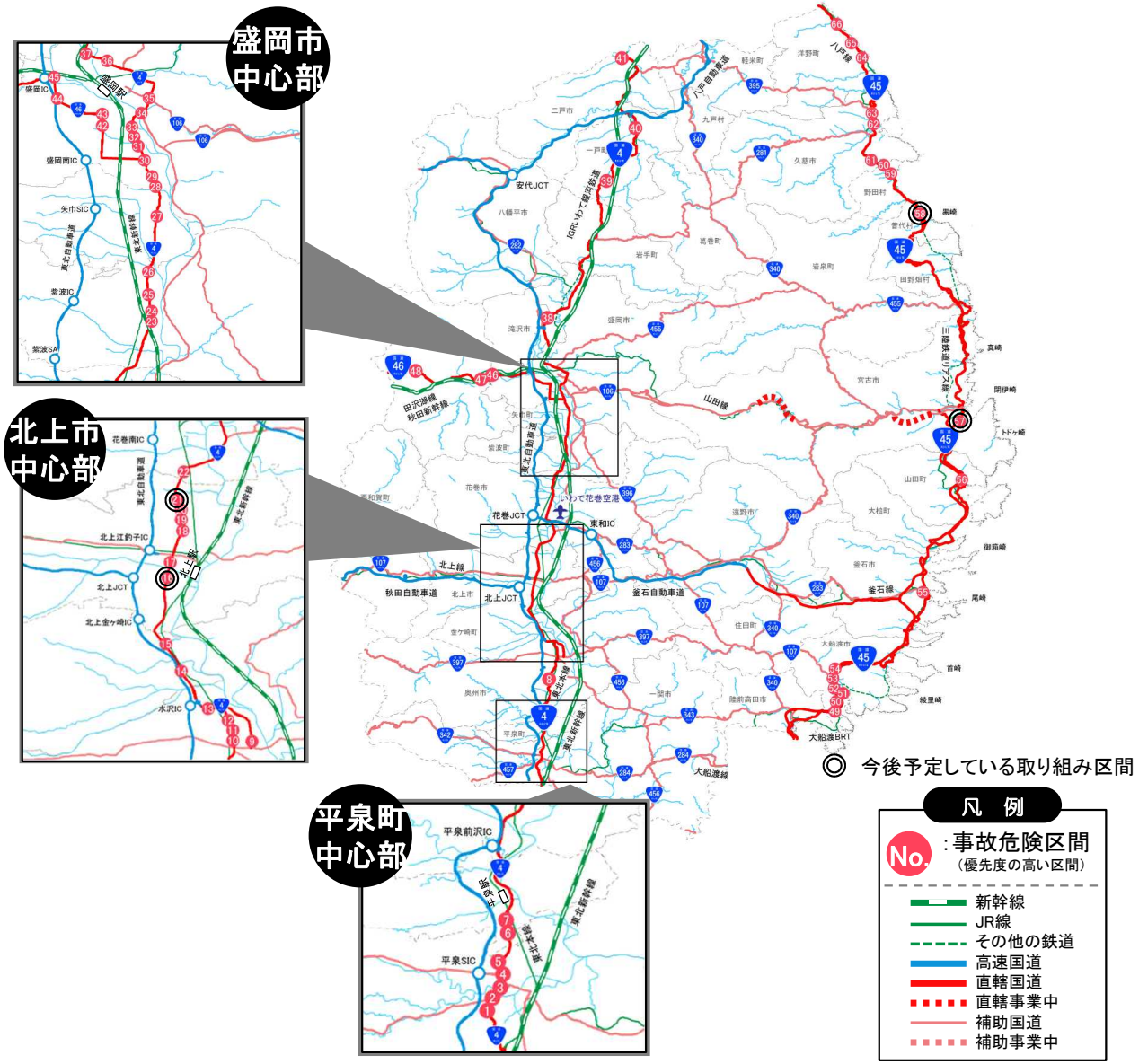
（２）**潜在的な危険区間：対策後の効果検証の結果により評価。**



1．1）第3期事故ゼロプランの概要

国土交通省
事故ゼロプラン

- 第３期事故ゼロプランのうち、**3箇所について効果検証を実施**



No.	路線名	対象区間【交差点名】 ※は事故危険箇所	①事故データから見た事故危険区間		②潜在的な危険区間
			死傷事故率	重大事故率	
1	国道4号	一関修紅短大入口～高梨交差点			●
2		一関市荻荘高梨南方～山目立沢			●
3		※一関市山目　【十二神交差点】		●	
4		※一関市山目　【大槻交差点】		●	
5		一関市山目大槻～中里沢田			●
6		西磐井郡平泉町平泉			●
7		大槻交差点～平泉BP南口交差点			●
8		奥州市前沢区古城　【折居交差点】			●
9		奥州市水沢区東中通り（水沢東BP）　【神明町交差点】			●
10		奥州市水沢区東大通り			●
11		奥州市水沢区佐倉河			●
12		※奥州市水沢佐倉河　【道下交差点】			●
13		奥州市水沢佐倉河～胆沢郡金ヶ崎町西根			●
14		胆沢郡金ヶ崎町西根本宮後～西根南羽沢			●
15		胆沢郡金ヶ崎町三ヶ尻　【三ヶ尻交差点】			●
16		北上市鬼柳町都鳥　【都鳥交差点】			●
17		北上市北鬼柳29地割　【北上警察署口交差点】			●
18		※北上市常磐台4丁目　【北上バイパス北口交差点】		●	
19		北上市村崎野　【高屋沢交差点】			●
20		北上市飯豊町　【大下交差点】			●
21		※北上市村崎野　【北上工業団地口交差点】		●	
22		北上工業団地入口交差点～花巻東BP南口交差点		●	
23		紫波郡紫波町北日詰　【日詰駅入口交差点】			●
24		紫波郡紫波町桜町　【紫波I.C入口交差点】			●
25		紫波郡紫波町　【城山交差点】			●
26		紫波郡紫波町高水寺中田　【高水寺北交差点】			●
27		紫波郡矢巾町西徳田　【矢幅駅入口交差点】			●
28		盛岡市東見前　【都南中央橋口交差点】	●		
29		盛岡市西見前　【見前南中学校入口交差点】			●
30		盛岡市津志田　【盛岡南I.C入口交差点】			●
31		盛岡市津志田　【四高入口交差点】			●
32		※盛岡市津志田町1丁目		●	
33		盛岡市津志田町1丁目　【(市)南仙北二丁目線交差点】			●
34		※盛岡市神子田町　【南大橋交差点】	●		
35		※盛岡市茶畑1丁目　【茶畑交差点】	●		
36		盛岡市上田4丁目　【高松交差点】	●		
37		盛岡市上堂4丁目　【上堂交差点】			●
38		滝沢市砂込			●
39		二戸郡一戸町中山			●
40		二戸郡一戸町岩舘			●
41		二戸市金田一雨滝～釜沢山道			●
42	国道46号	盛岡市向中野5丁目（盛岡西ＢＰ）【向中野5丁目交差点】			●
43		※盛岡市本宮（盛岡西ＢＰ）　【本宮交差点】		●	
44		盛岡市中太田八卦（盛岡西BP）　【八卦交差点】			●
45		盛岡市上厨川前潟　【西バイパス北口交差点】			●
46		盛岡市繋字尾入野　【市道、町道との交差点】			●
47		岩手郡雫石町塩ヶ森			●
48		岩手郡雫石町橋場			●
49	国道45号	大船渡市大船渡町字下船渡		●	
50		大船渡市盛町字御山下		●	
51		大船渡市盛町字木町		●	
52		大船渡市盛町字木町～字権現堂	●		
53		※大船渡市盛町字権現堂　【権現堂交差点】			●
54		※大船渡市立根町字堰口～字堀之内	●		
55		釜石市松原町三丁目		●	
56		下閉伊郡山田町大沢			●
57		宮古市高浜2丁目			●
58		下閉伊郡普代村第16地割			●
59		九戸郡野田村野田第18地割		●	
60		九戸郡野田村野田第27地割		●	
61		久慈市宇部町第8地割			●
62		久慈市新井田第3地割～夏井町鳥谷第7地割（久慈道路）			●
63		久慈市夏井町字鳥谷			●
64		九戸郡洋野町有家第4地割～小子内第4地割			●
65		九戸郡洋野町種市第7地割			●
66		九戸郡洋野町種市第18地割～第28地割		●	

1．1）第3期事故ゼロプランの概要

国土交通省
事故ゼロプラン

■：新規事業化年度　●：対策完了年度
○：対策完了予定年度　★：効果検証年度

No.	路線名	対象区間【交差点名】 ※は事故危険箇所	①事故データから見た事故危険区間		②潜在的な危険区間	対策の状況	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8以降
			死傷事故率	重大事故率											
1	国道4号	一関修紅短大入口～高梨交差点			●	事業中（交安Ⅰ種：萩荘地区付加車線整備）							■		
2		一関市荻荘高梨南方～山目立沢			●	対策済（交安Ⅰ種：一関地区事故対策）							●		★
3		※ 一関市山目 【十二神交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）							●		★
4		※ 一関市山目 【大槻交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）								●	★
5		一関市山目大槻～中里沢田			●	未対策									
6		西磐井郡平泉町平泉			●	未対策									
7		大槻交差点～平泉BP南口交差点			●	未対策									
8		奥州市前沢区古城 【折居交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：折居交差点改良）		●						★	
9		奥州市水沢区東中通り（水沢東BP） 【神明町交差点】			●	事業中（改築：水沢東バイパス）									
10		奥州市水沢区東大通り			●	事業中（改築：水沢東バイパス）									
11		奥州市水沢区佐倉河			●	事業中（改築：水沢東バイパス）									
12		※ 奥州市水沢佐倉河 【道下交差点】			●	対策済（交安Ⅱ種） 事業中（改築：水沢東バイパス）								●	★
13		奥州市水沢佐倉河～胆沢郡金ヶ崎町西根			●	事業中（改築：水沢金ヶ崎道路）							■		
14		胆沢郡金ヶ崎町西根本宮後～西根南羽沢			●	事業中（改築：金ヶ崎拡幅）									
15		胆沢郡金ヶ崎町三ヶ尻 【三ヶ尻交差点】			●	事業中（改築：金ヶ崎拡幅）									
16		北上市鬼柳町都鳥 【都鳥交差点】			●	対策検討中									
17		北上市北鬼柳29地割 【北上警察署口交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：北上警察署口交差点改良）					■		●		★
18		※ 北上市常磐台4丁目 【北上ﾊﾞｲﾊﾟｽ北口交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）								●	★
19		北上市村崎野 【高屋沢交差点】			●	未対策									
20		北上市飯豊町 【大下交差点】			●	対策検討中									
21		※ 北上市村崎野 【北上工業団地口交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）								●	★
22		北上工業団地入口交差点～花巻東BP南口交差点		●		事業中（改築：北上花巻道路）			■						
23		紫波郡紫波町北日詰 【日詰駅入口交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：北日詰交差点改良）					●				★
24		紫波郡紫波町桜町 【紫波I.C入口交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：紫波地区交差点改良）									
25		紫波郡紫波町 【城山交差点】			●	対策済（交安Ⅰ種：紫波地区（城山入口）交差点改良）					●				★
26		紫波郡紫波町高水寺中田 【高水寺北交差点】			●	事業中（交安Ⅰ種：高水寺北交差点改良）							■		
27		紫波郡矢巾町西徳田 【矢幅駅入口交差点】			●	対策検討中									
28		盛岡市東見前 【都南中央橋口交差点】	●			事業中（改築：盛岡南道路）			■						
29		盛岡市西見前 【見前南中学校入口交差点】			●	事業中（改築：盛岡南道路）			■						
30		盛岡市津志田 【盛岡南I.C入口交差点】			●	事業中（改築：盛岡南道路）			■						
31		盛岡市津志田 【四高入口交差点】			●	事業中（交安Ⅰ種：川久保交差点改良）									
32		※ 盛岡市津志田町1丁目		●		事業中（交安Ⅰ種：川久保交差点改良）									
33		盛岡市津志田町1丁目 【(市)南仙北二丁目線交差点】			●	事業中（交安Ⅰ種：川久保交差点改良）									
34		※ 盛岡市神子田町 【南大橋交差点】	●			対策済（交安Ⅱ種） 事業中（交安Ⅰ種：南大橋交差点改良）								● ■	★
35		※ 盛岡市茶畑1丁目 【茶畑交差点】	●			対策済（交安Ⅱ種）								●	★
36		盛岡市上田4丁目 【高松交差点】	●			対策検討中									
37		盛岡市上堂4丁目 【上堂交差点】			●	対策済（交安Ⅱ種）			●						★
38		滝沢市砂込			●	対策検討中									
39		二戸郡一戸町中山			●	事業中（交安Ⅰ種：中山地区付加車線整備）									
40		二戸郡一戸町岩舘			●	事業中（交安Ⅰ種：岩舘地区歩道整備）									
41		二戸市金田一雨滝～釜沢山道			●	対策済（交安Ⅰ種：青岩地区歩道整備）				●					★
42	国道46号	盛岡市向中野5丁目（盛岡西ＢＰ）【向中野5丁目交差点】			●	対策検討中									
43		※ 盛岡市本宮（盛岡西ＢＰ） 【本宮交差点】		●		対策済（交安Ⅱ種）							●		★
44		盛岡市中太田八卦（盛岡西BP） 【八卦交差点】			●	対策済（改築：盛岡西バイパス）								●	★
45		盛岡市上厨川前潟 【西ﾊﾞｲﾊﾟｽ北口交差点】			●	対策済（改築：盛岡西バイパス）								●	★
46		盛岡市繋字尾入野 【市道、町道との交差点】			●	対策済（交安Ⅱ種）	●								★
47		岩手郡雫石町塩ヶ森			●	対策済（交安Ⅱ種）			●						★
48		岩手郡雫石町橋場			●	対策済（交安Ⅱ種）	●								★
49	国道45号	大船渡市大船渡町字下船渡		●		対策済（交安Ⅱ種）			●						★
50		大船渡市盛町字御山下		●		対策済（交安Ⅱ種）			●						★
51		大船渡市盛町字木町		●		対策済（交安Ⅱ種）			●						★
52		大船渡市盛町字木町～字権現堂	●			事業中（交安Ⅰ種：権現堂交差点改良）				■					
53		※ 大船渡市盛町字権現堂 【権現堂交差点】			●	事業中（交安Ⅰ種：権現堂交差点改良）				■					
54		※ 大船渡市立根町字堰口～字堀之内	●			対策済（交安Ⅱ種）								●	★
55		釜石市松原町三丁目		●		対策検討中									
56		下閉伊郡山田町大沢			●	対策済（交安Ⅰ種：大沢地区歩道整備）	■	●						★	
57		宮古市高浜2丁目			●	事業中（高浜歩道・自転車走行空間整備）								■	
58		下閉伊郡普代村第16地割			●	事業中（交安Ⅰ種：力持交差点改良）								■	
59		九戸郡野田村野田第18地割		●		未対策									
60		九戸郡野田村野田第27地割		●		未対策									
61		久慈市宇部町第8地割			●	未対策									
62		久慈市新井田第3地割～夏井町鳥谷第7地割（久慈道路）			●	対策済（交安Ⅱ種）		●						★	
63		久慈市夏井町字鳥谷			●	対策済（交安Ⅰ種：夏井地区歩道整備）			●						★
64		九戸郡洋野町有家第4地割～小子内第4地割			●	対策済（改築：種市地区登坂車線整備）			●						★
65		九戸郡洋野町種市第7地割			●	対策済（交安Ⅰ種：宿戸地区歩道整備）				■			●		★
66		※ 九戸郡洋野町種市第18地割～第28地割		●		対策済（交安Ⅰ種：種市地区歩道整備）				■			●		★

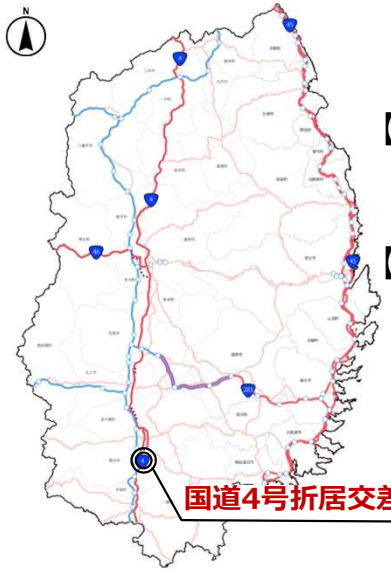
令和元年度完了箇所は、４年分の事故データの蓄積がされた箇所の為、令和７年度に先行して効果検証を実施

令和８年度は社会資本整備重点計画の更新にあわせて、事故危険区間・事故危険箇所の全体評価を実施予定

1．2）効果検証結果　①国道4号 奥州市前沢区古城【折居交差点】

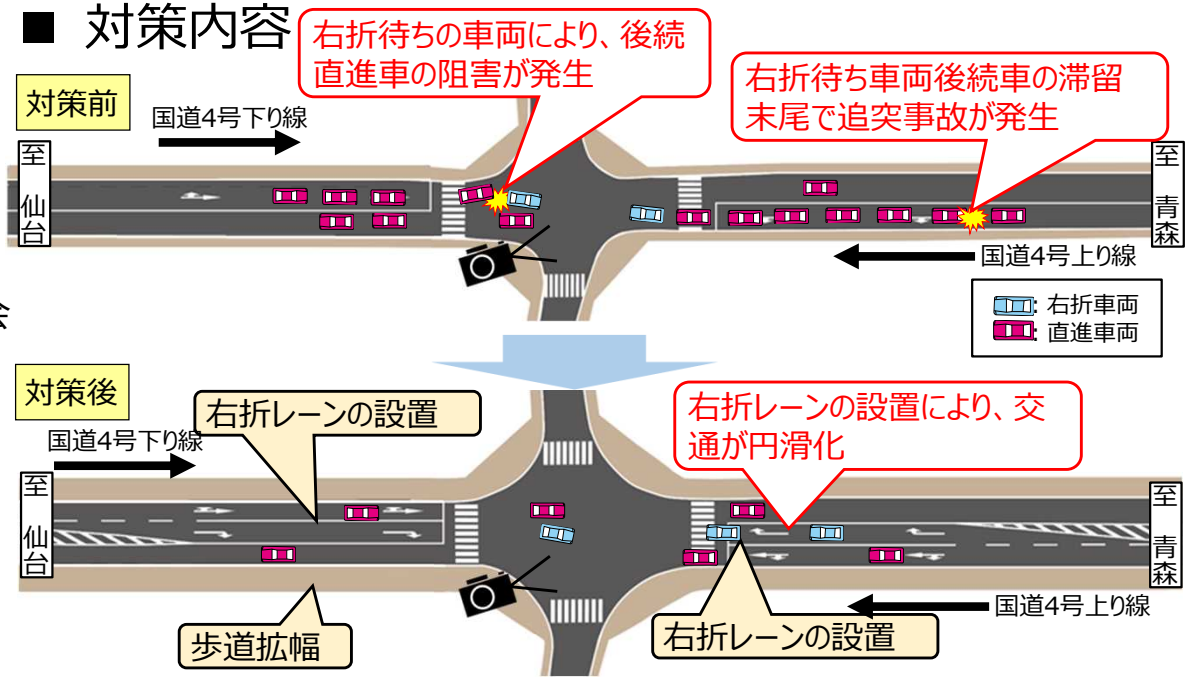
国土交通省
事故ゼロプラン

- 折居交差点では、右折待ち車両による**直進車の阻害や滞留末尾での追突事故**が発生。
- **右折レーン設置**対策前後の事故件数や急挙動発生件数等の変化から効果検証を実施。



【対策概要】
・上下線に右折レーン設置
・歩道拡幅
【事業実施状況】
・H25 新規事業化・用地立入り説明会
・H25～H30 測量・設計・用地買収
・H31(R1)～ R2.7.31 工事

■ 対策内容



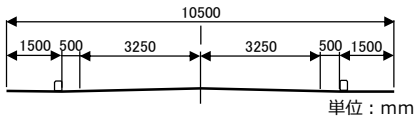
■ 事故危険区間設置当時の状況

事故危険区間選定要件	（2）潜在的な危険区間
対策前4年間の事故件数（H27～H30）	2件/4年

【効果検証方針】
・対策後4年間（R2～R5）の事故件数整理
・対策前後の急挙動発生状況整理
・過年度調査結果から渋滞発生状況等を整理

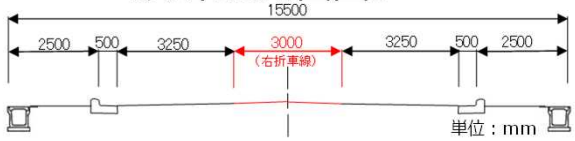


【対策前断面図】





【対策後断面図】

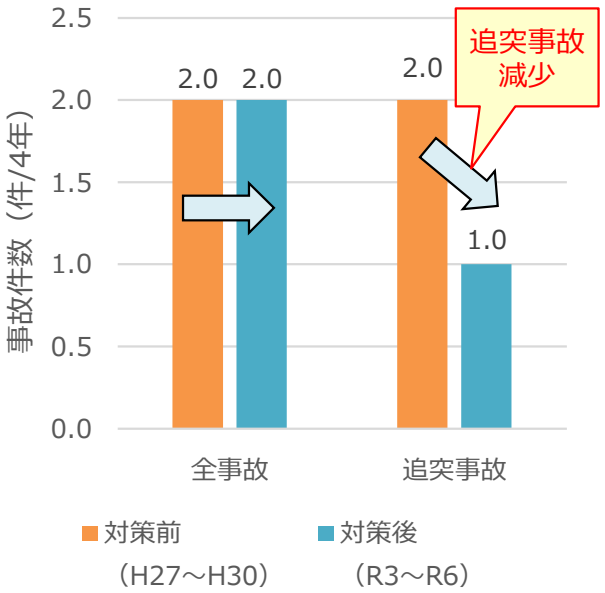


1．2）効果検証結果　①国道4号 奥州市前沢区古城【折居交差点】

国土交通省 事故ゼロプラン

- 折居交差点では、事故件数は大きく変わっていないが、事故類型別でみると、今回の事故対策との関連性がある**追突事故が減少**している。
- 右折レーン周辺での**急挙動は大幅に減少**するとともに、渋滞が解消されたことで、安全性・円滑性（**速度向上**）の両面から対策の効果がみられた。

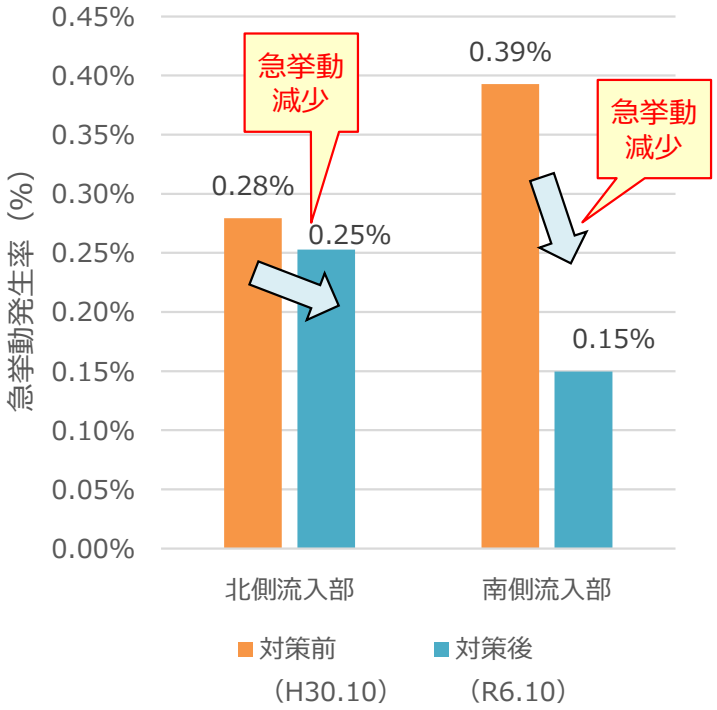
■ 事故件数からみた効果



分類	事故類型
対策前	・H28・車両相互・追突（1件） ・H30・車両相互・追突（1件）
対策後	・R5・車両相互・追突（1件） ・R5・人体車両・横断中（1件）

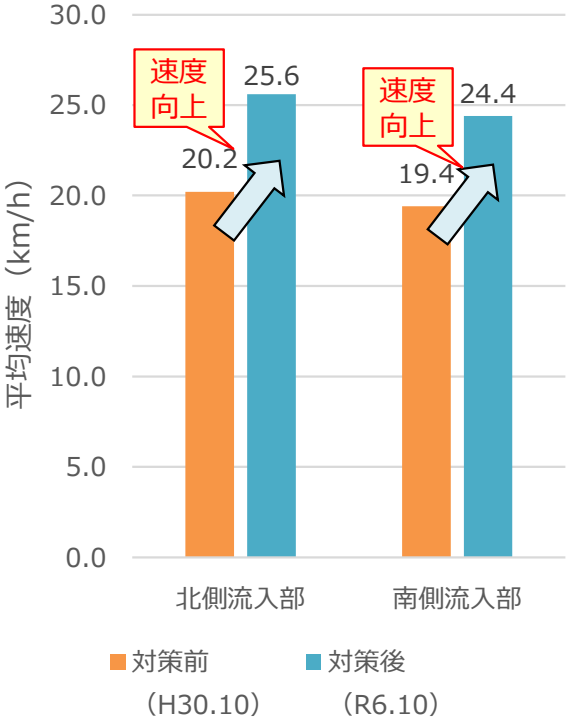
【算定条件】
・交通事故・道路統合DBデータを使用（イタルダ）

■ 急挙動発生率からみた効果



【算定条件】
・ETC2.0データを使用
・交差点中心から50m～150mの急挙動データを使用
・前後加速度-0.3G以下の急挙動データを使用
・急挙動発生率（%）
＝前後加速度発生回数/ETC2.0取得サンプル台数
【取得サンプル数】
〇北側流入部　・対策前：1,790台　対策後：17,014台
〇南側流入部　・対策前：1,782台　対策後：16,046台

■ 渋滞緩和効果

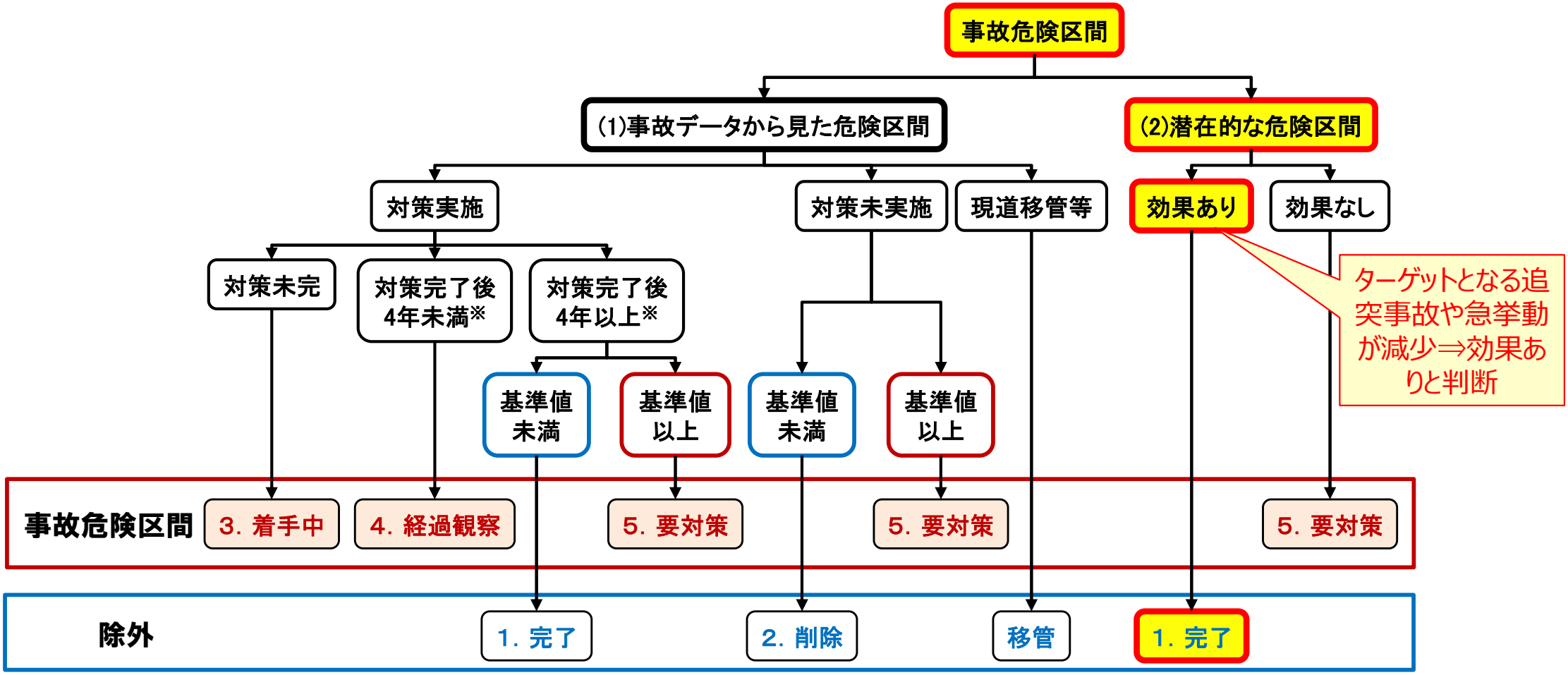


【算定条件】
・ETC2.0データを使用
・交差点中心から150mの速度データを使用
・直進方向の車両の平日平均速度を使用
・ピーク時間である8時台の速度データを使用
【取得サンプル数】
〇北側流入部　・対策前：64台　対策後：955台
〇南側流入部　・対策前：77台　対策後：974台

1．2）効果検証結果　①国道4号 奥州市前沢区古城【折居交差点】

国土交通省
事故ゼロプラン

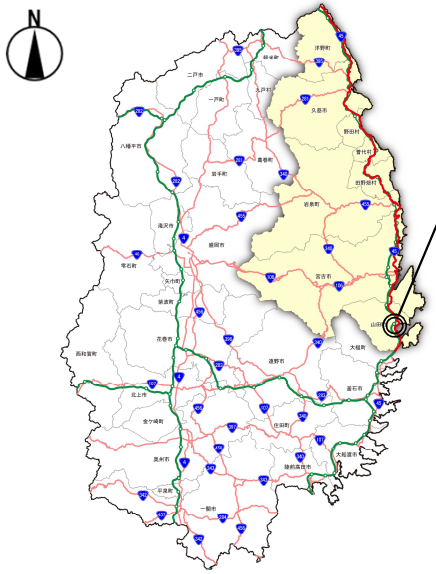
- 事故ゼロプランにおいて、折居交差点は**潜在的な危険箇所**として選定。
- 前頁のとおり、ターゲットとなる追突事故や急挙動が減少し、あわせて渋滞緩和効果が確認できたことから、**次回事故ゼロプラン更新時に事故危険区間から除外する予定**。



1．2）効果検証結果　②国道45号　下閉伊郡山田町大沢

国土交通省
事故ゼロプラン

- 山田町大沢地区では、狭い路肩を通行する住民や児童を避けて**正面衝突事故や追突事故が発生**。
- **歩道設置**対策前後の事故件数・事故類型の変化やアンケート結果から効果検証を実施。



【対策概要】
・上り線に歩道設置
【事業実施状況】
・H28 新規事業化
・H28～H30 測量・設計・用地買収
・H30～ R2.3.25 工事

■　事故危険区間設置当時の状況

事故危険区間選定要件	（2）潜在的な危険区間
対策前4年間の事故件数（H27～H30）	2件/4年

【効果検証方針】
・対策後5年間（R2～R7.9）の事故件数・事故類型の整理
・Webアンケート結果の整理

■　対策内容



1．2）効果検証結果　②国道45号　下閉伊郡山田町大沢

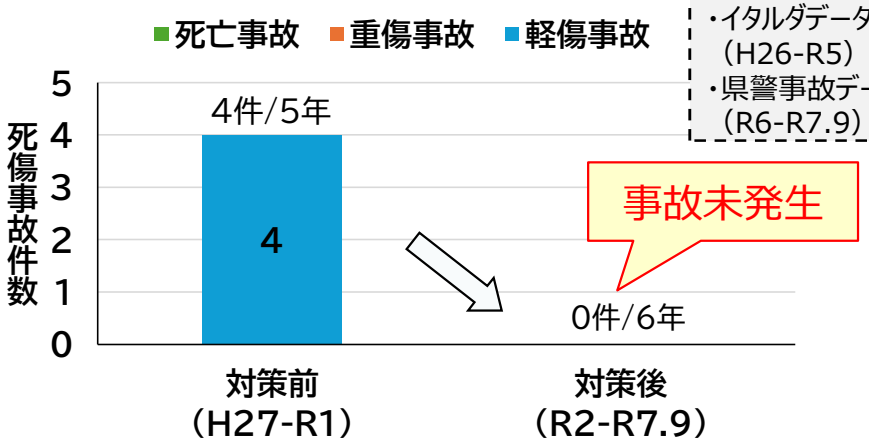
国土交通省
事故ゼロプラン

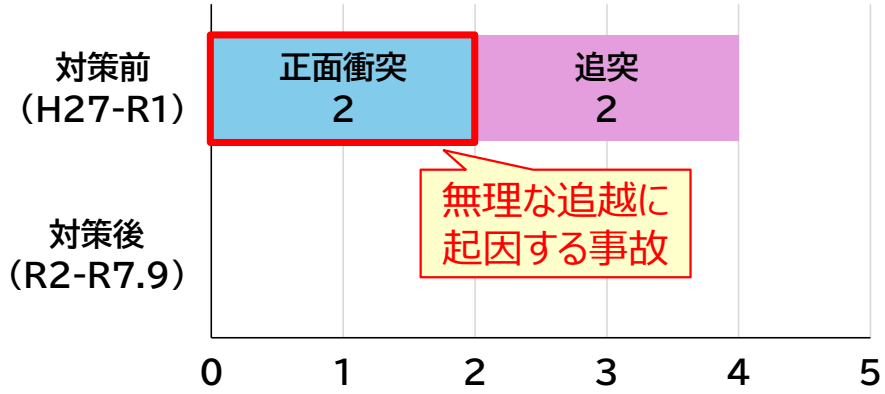
- 山田町大沢地区では、今回の事故対策との関連性がある無理な追い越しに起因する**正面衝突事故や追突事故を含め、交通事故の発生は確認されていない**。
- Webアンケートの結果では、**安全性が「非常に向上した」「やや向上した」と約8割の方が回答**。整備後に**「大変走りやすくなった」「やや走りやすくなった」と約8割の方が回答**。

⇒整備後の交通事故発生件数・アンケート結果から、歩道整備による安全性の向上が確認できる。

■ 事故件数・事故類型からみた効果

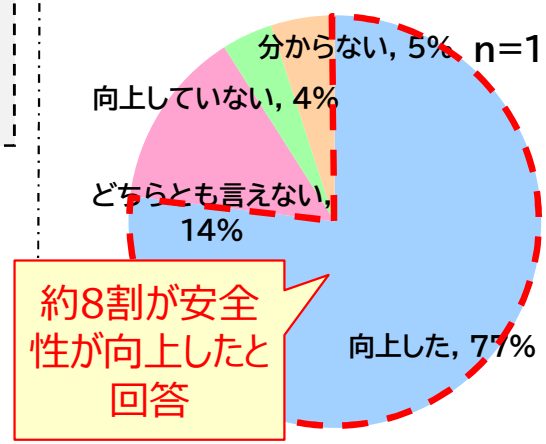
【算定条件】
・イタルダデータ（H26-R5）
・県警事故データ（R6-R7.9）を使用





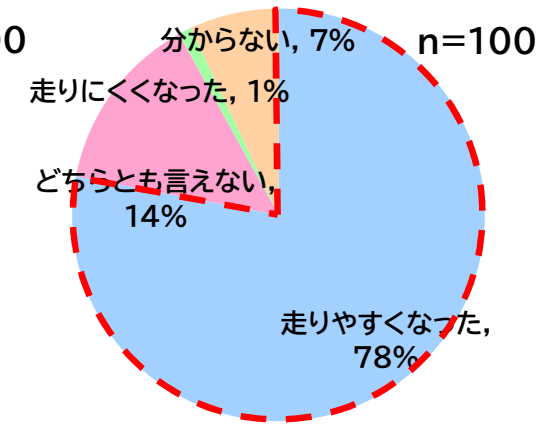
■ アンケート集計結果

※整備前・整備後どちらも通行したことがある方への設問



約8割が安全性が向上したと回答

▲安全性の向上について



▲走りやすさの変化について

■ 道路利用者からの声

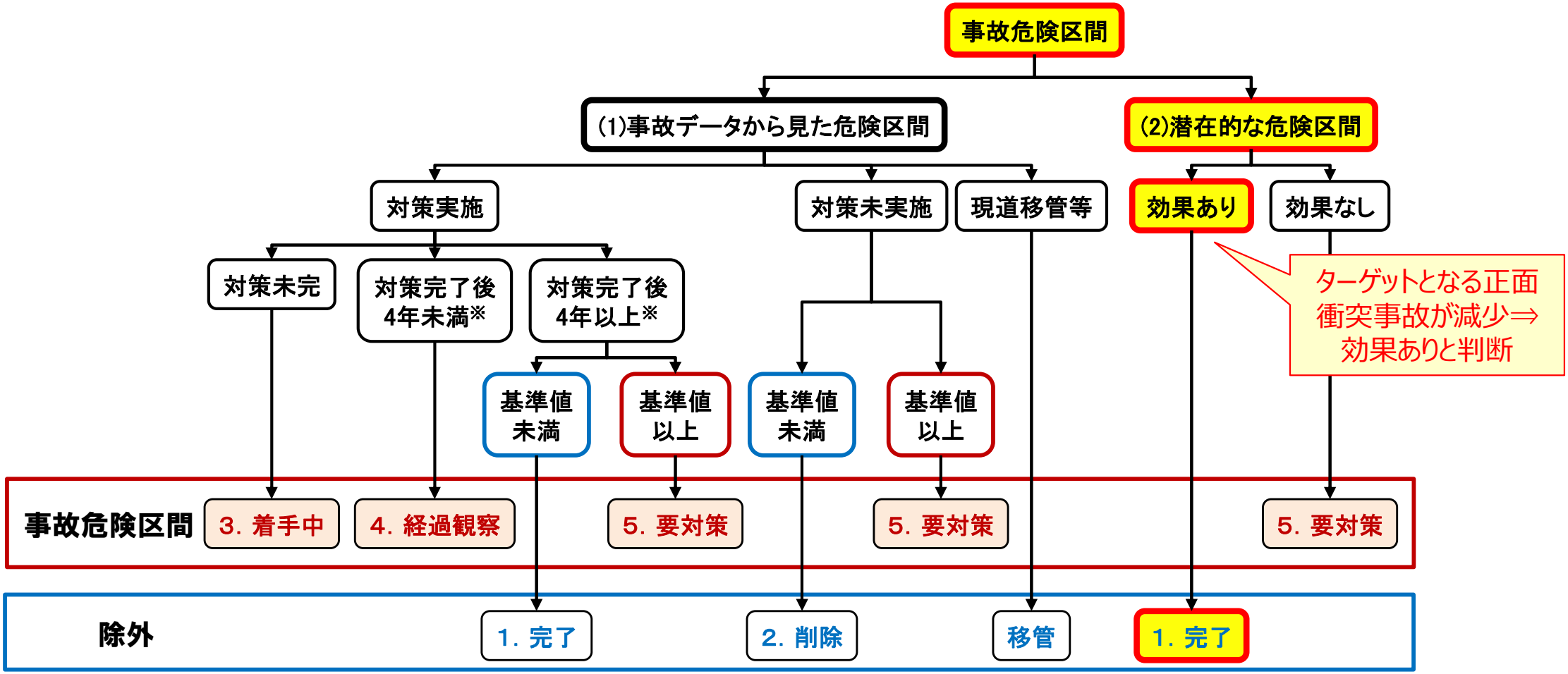


【整備により改善されたこと】
- 歩行者が道路にいるという危険意識が軽減された
- 追越の際、対向車線側へはみ出さなくていいため、対向車も気にならない。
- 歩行者や自転車、シニアカー等がいると危なく感じてたが、視認もしやすく楽になった。

1．2）効果検証結果　②国道45号　下閉伊郡山田町大沢

国土交通省
事故ゼロプラン

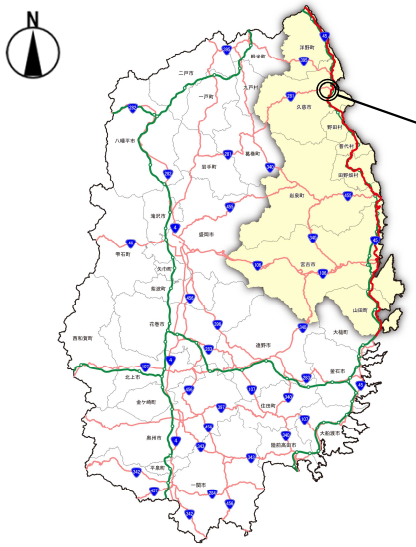
- 事故ゼロプランにおいて、山田町大沢は**潜在的な危険箇所**として選定。
- 前頁のとおり、ターゲットとなる正面衝突事故が減少し、道路利用者アンケートからも効果を確認できたことから、**次回事故ゼロプラン更新時に事故危険区間から除外する予定**。



1．2）効果検証結果　③国道45号　久慈市新井田第3地割～夏井町鳥谷第7地割（久慈道路）

国土交通省
事故ゼロプラン

- 久慈市夏井町の久慈道路では、車両逸脱による**正面衝突事故や追突事故が発生**。
- **ワイヤーロープ式防護柵設置**対策前後の事故件数・事故類型の変化やアンケート結果から効果検証を実施。



国道45号久慈市夏井町（久慈道路）

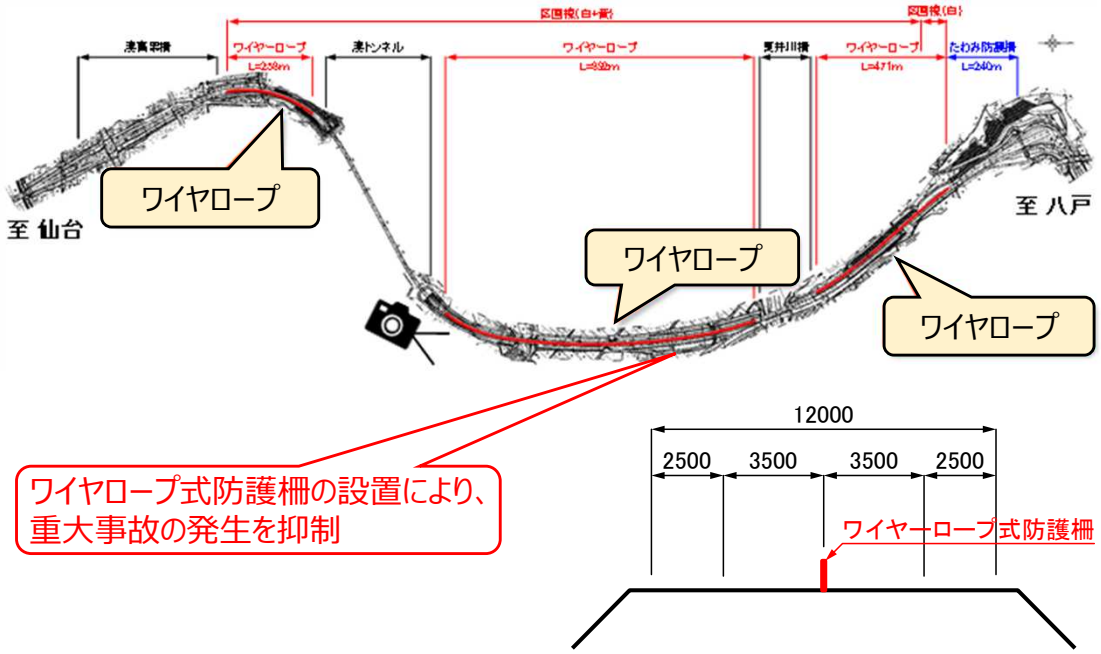
【対策概要】
・中央分離帯に
ワイヤロープ式防護柵
【事業実施状況】
・H31(R1) 設計
・H31(R1)～R2.3.19 工事

■　事故危険区間設置当時の状況

事故危険区間選定要件	（2）潜在的な危険区間
対策前4年間の事故件数（H27～H30）	3件/4年 【類型別】正面衝突2件 【程度別】死亡事故1件、重傷1件、軽傷1件

【効果検証方針】
・対策後5年間（R2～R7.9）の事故件数・事故類型の整理
・Webアンケート結果の整理

■　対策内容





整備前



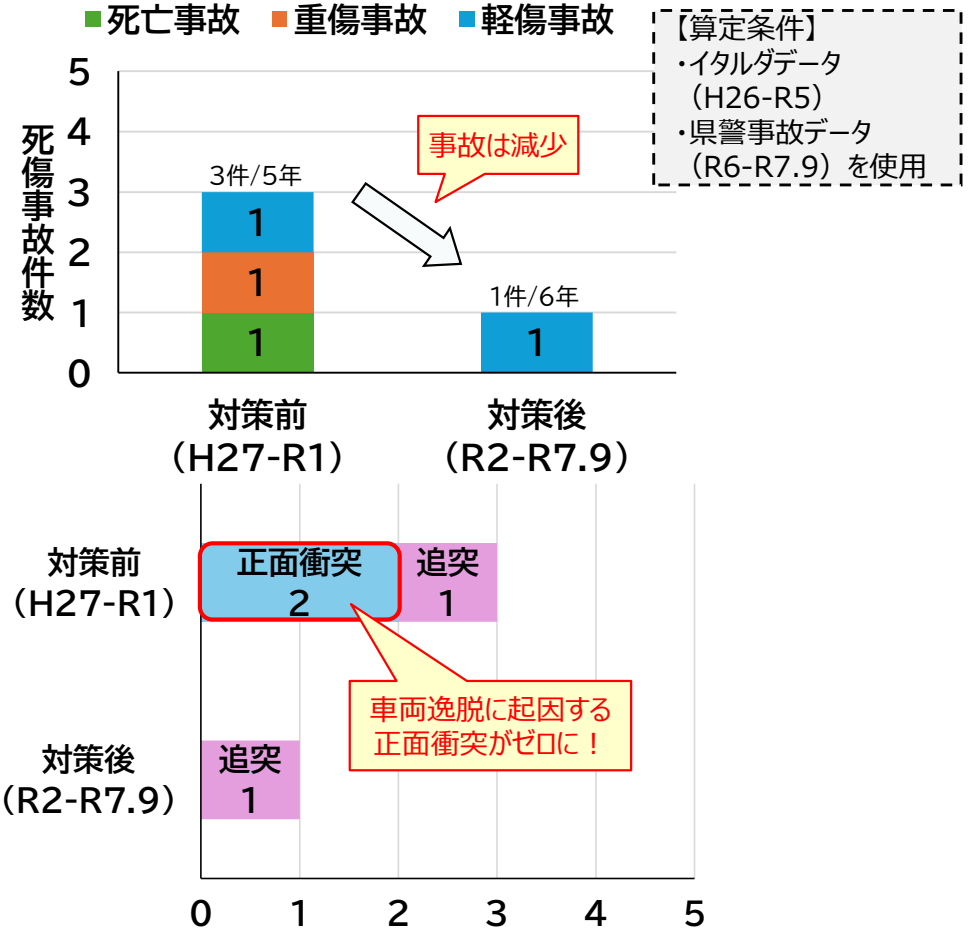
整備後

1．2）効果検証結果　③国道45号　久慈市新井田第3地割～夏井町鳥谷第7地割（久慈道路）

国土交通省 事故ゼロプラン

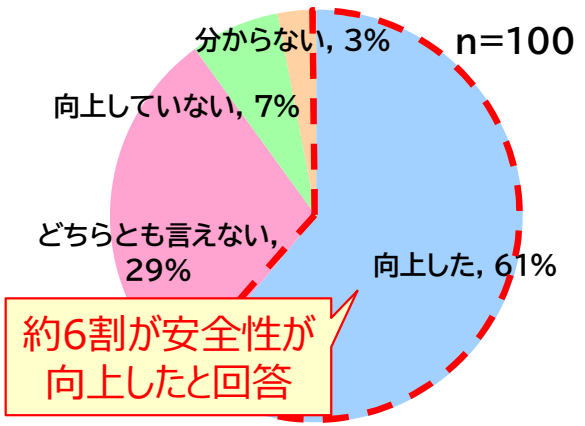
- 久慈道路では、**交通事故が減少**し、死者や重傷者は出ていない状況である。
- 今回の事故対策との関連性がある車両逸脱による**正面衝突事故は未発生**である。
- Webアンケートの集計結果では、**約6割が安全性が向上したと回答**
  ⇒事故件数・アンケート結果から、ワイヤロープ設置による効果が確認できる。
  ⇒**接触事故対策**として、R6年9月4日に**ランブルストリップス・ドットラインを施工済**

■ 事故件数・事故類型からみた効果

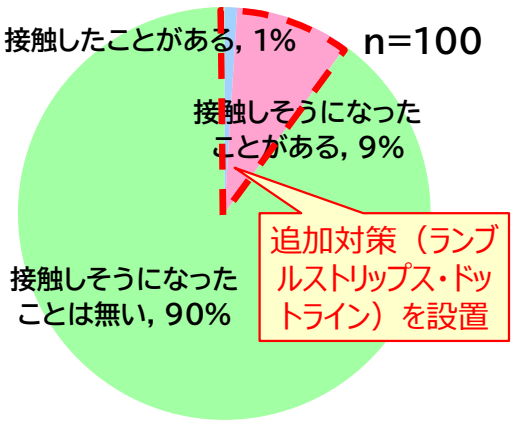


■ アンケート集計結果

※整備前・整備後どちらも通行したことがある方への設問



▲安全性の向上について



▲ワイヤロープについて

■ 道路利用者からの声

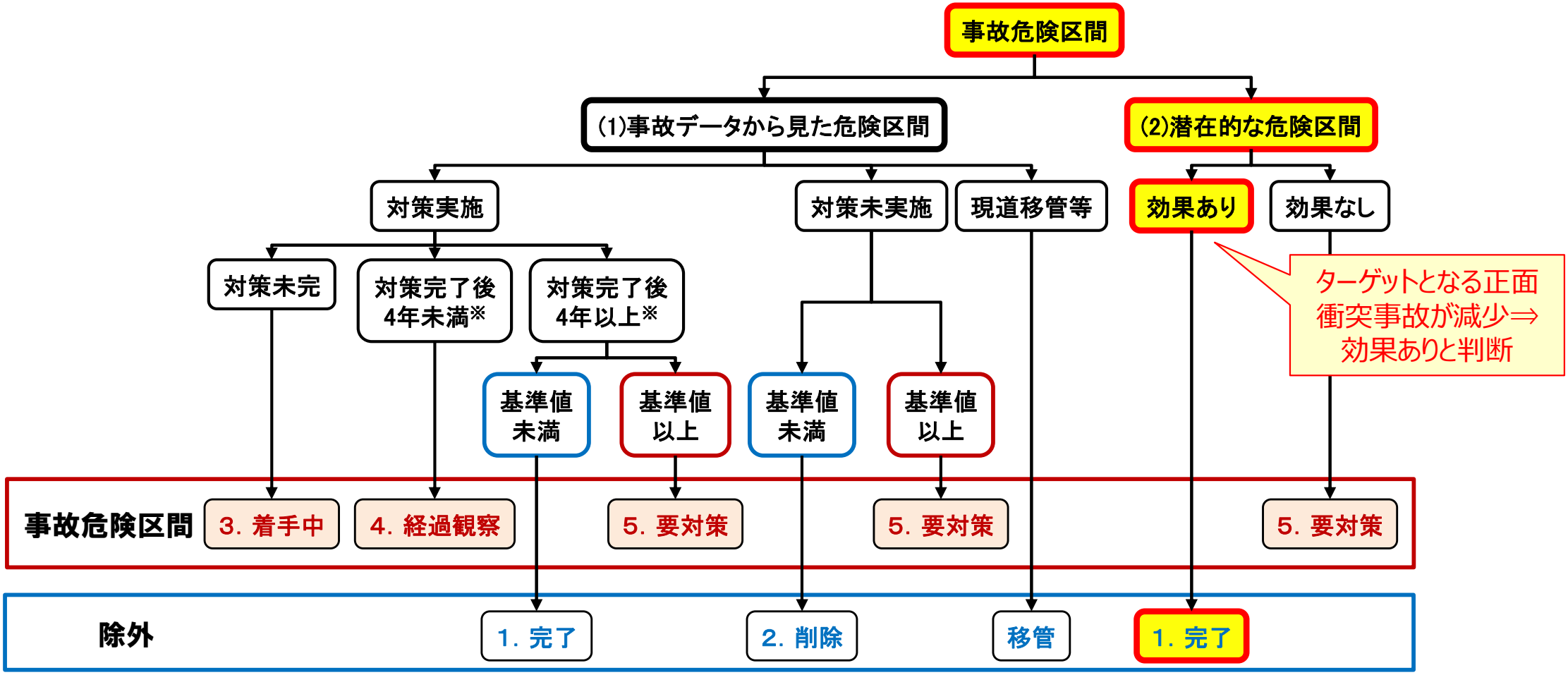


【整備により改善されたこと】
- 全体的に安心感が上がって走りやすくなった。
- 対向車のはみ出しが無くなりより安全性が高まった。
- 運転に自信がない私でも余裕を持って走れるようになった。

【新たに危険だと思う事象】
- 久慈ICの合流区間が短くて本線の車両が見えづらい。
- ワイヤロープがある事で路幅が狭く感じる事もある

1．2）効果検証結果　③国道45号　久慈市新井田第3地割～夏井町鳥谷第7地割（久慈道路）

- 事故ゼロプランにおいて、久慈道路は**潜在的な危険箇所**として選定。
- 前頁のとおり、ターゲットとなる正面衝突事故が減少し、道路利用者アンケートからも効果を確認できたことから、**次回事故ゼロプラン更新時に事故危険区間から除外する予定**。



1．3）事故ゼロプランの今後のスケジュール

- 今回は、効果検証の結果について報告を行った。
- 次年度以降は、対策の進捗状況を踏まえ、**事故ゼロプラン全体の見直しを予定**し、安推連で継続的に審議予定。

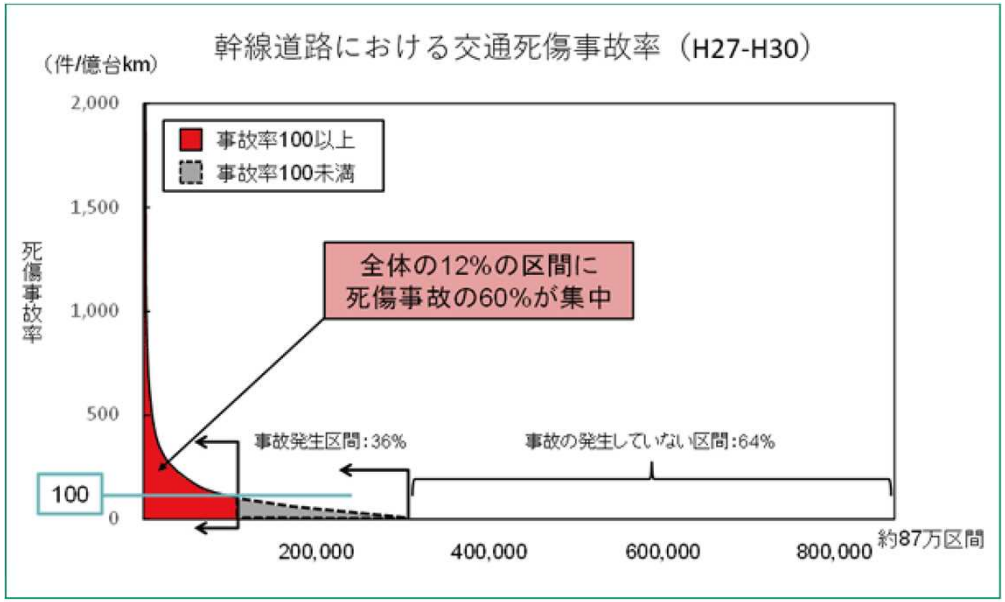
■スケジュール（案）

時　期	内　容
令和7年7月16日～26日 （第1回安推連（書面））	• 第3期事故ゼロプランの進捗状況の報告 • 今年度の効果検証予定箇所及び効果検証方針の報告
令和8年2月 （第2回安推連）	• 効果検証結果の報告
令和8年度以降	• 事故ゼロプランの見直し方針の審議 • 対策実施（安推連で継続的に審議予定）

2．1）事故危険箇所の概要

- 国土交通省と警察庁は合同で、**幹線道路における集中的な交通事故対策を実施**することを目的に、交通事故が多発している箇所やETC2.0プローブデータ等のビッグデータから判明した潜在的な危険箇所等を「**事故危険箇所**（全国2,748箇所、**岩手県17箇所**）」として**令和４年３月に指定**し、道路管理者と都道府県公安委員会が連携した対策を推進している。
- 令和3年5月に閣議決定された第5次社会資本整備重点計画において、「**幹線道路の事故危険箇所における死傷事故抑止率約3割（令和元年比）**」という目標が設定されている。

■ 幹線道路における交通死傷事故率



※全国の国道・主要地方道・都道府県道約 20 万 km（約 87 万区間）における 4 年間（H27-H30）の事故データ及び交通量（H27）を用いて作成

出典：国土交通省HP

■ 事故危険箇所の抽出基準

（A）平成27年～平成30年における交通事故発生状況について以下の条件を全て満たす箇所。

- 死傷事故率が100件/億台キロ以上
- 重大事故率が10件/億台キロ以上
- 死亡事故率が1件/億台キロ以上

（B）ETC2.0プローブデータ等のビッグデータを活用した潜在的な危険箇所等、地域の課題や特徴を踏まえ、特に緊急的、集中的な対策が必要な箇所 等。

出典：国土交通省HP

2．1）事故危険箇所の概要

- 対策完了箇所：**令和7年度中に事故データによる対策効果検証を実施**。
- 対策中箇所：引き続き対策を推進し、完了時期に応じて対策効果検証を実施。

■ 事故危険箇所の対策実施状況一覧

番号	道路種別	路線名	交差点/単路	箇所	対策実施状況	対策完了時期※予定含む	対策実施内容
1	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	一関市山目字才天227番地（十二神交差点）	対策完了	R6.11完	交安Ⅱ種対策
2	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	奥州市水沢佐倉河字道下67番地1（道下交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策
3	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	北上市村崎野19地割117番地2（北上工業団地口交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策
4	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	一関市山目大槻90番地（大槻交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策
5	一般国道（指定区間内）	4号	単路	盛岡市津志田町一丁目	対策中	R8年以降	交差点改良
6	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	盛岡市神子田町8番40号（南大橋交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策 （Ⅰ種対策検討中）
7	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	盛岡市茶畑1丁目19番1号（茶畑交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策
8	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	北上市藤沢20地割131番地1（北上バイパス北口交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策
9	一般国道（指定区間内）	46号	交差点	盛岡市中太田屋敷田4番地（深持交差点）	対策完了	R7.12完	改築
10	一般国道（指定区間内）	46号	交差点	盛岡市向中野三丁目1番18号（本宮交差点）	対策完了	R6.10完	交安Ⅱ種対策
11	一般国道（指定区間内）	45号	単路	大船渡市立根町字堰口23番地57付近	対策完了	R7.10完	交安Ⅱ種対策
12	一般国道（指定区間内）	45号	交差点	大船渡市盛町字権現堂1番地4（権現堂交差点）	対策中	R8年以降	交差点改良
13	一般国道（指定区間内）	45号	交差点	九戸郡洋野町第24地割156番地1（緑ヶ丘交差点）	対策完了	R7.3完	交安Ⅱ種対策 歩道整備
14	一般国道（指定区間外）	107号	交差点	北上市和賀町堅川目第1地割184番地5 （堅川目工業団地入口）（交差点名なし）	対策完了	R4.11完	交安Ⅱ種対策
15	一般県道	衣川水沢線	交差点	奥州市水沢字久田14番地7 （水沢小学校西）（交差点名なし）	対策完了	R4.10完	交安Ⅱ種対策
16	一般県道	盛岡滝沢線	単路	盛岡市青山二丁目24番15号（盛岡西警察署前）から 盛岡市西青山二丁目19番35号（スーパーアークス前）まで	対策完了	R4.6完	交安Ⅱ種対策
17	一般県道	久田笹長根線	交差点	北上市相去町七里1番地10（交差点名なし）	対策完了	R4.7完	交安Ⅱ種対策

：令和8年2月時点で対策完了

2．1）事故危険箇所の概要

灰色箇所は令和8年2月時点で対策完了

白色箇所は令和8年3月以降に完了予定







出典：地理院地図に道路情報等を追記

2．2）事故危険箇所の効果検証【全体評価】

- 第5次社会資本整備重点計画で示されている評価資料を用いて、令和元年を基準とした、死傷事故抑止率により評価を行う。

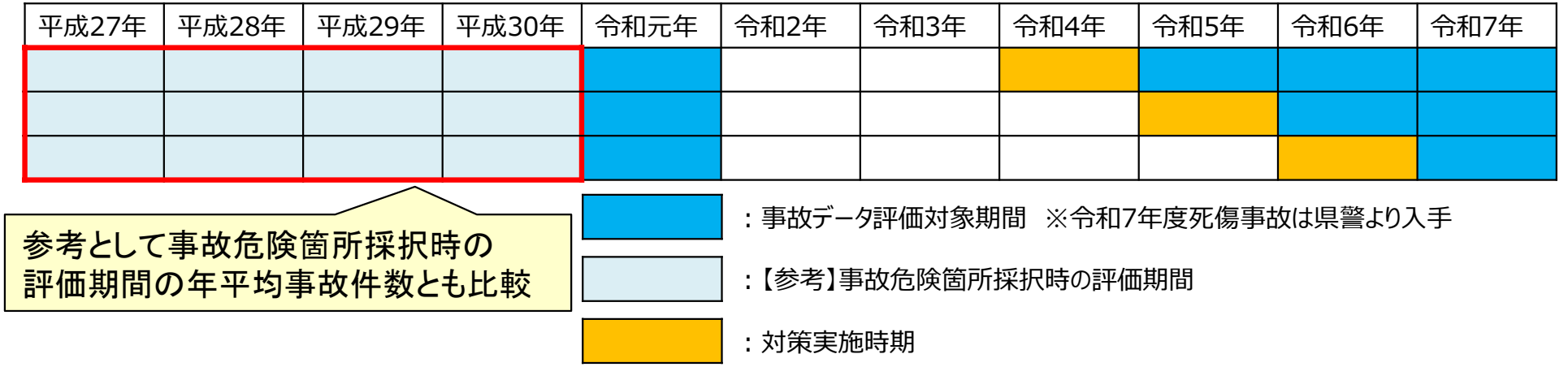
死傷事故抑止率＝（対策前事故件数ー対策後平均事故件数）/対策前事故件数

- 参考として、**事故危険箇所採択時の評価期間**（平成27年～30年）**の年平均事故件数による評価**を行う。

■ 第5次社会資本整備重点計画における評価指標の考え方

重点施策	指標
幹線道路において交通事故の危険性が高い箇所における重点的な交通事故抑止対策（交差点改良、右折レーンの設置、交通安全施設等の整備等）を推進	幹線道路の事故危険箇所における死傷事故抑止率 R7年 約3割抑止（R元年比）

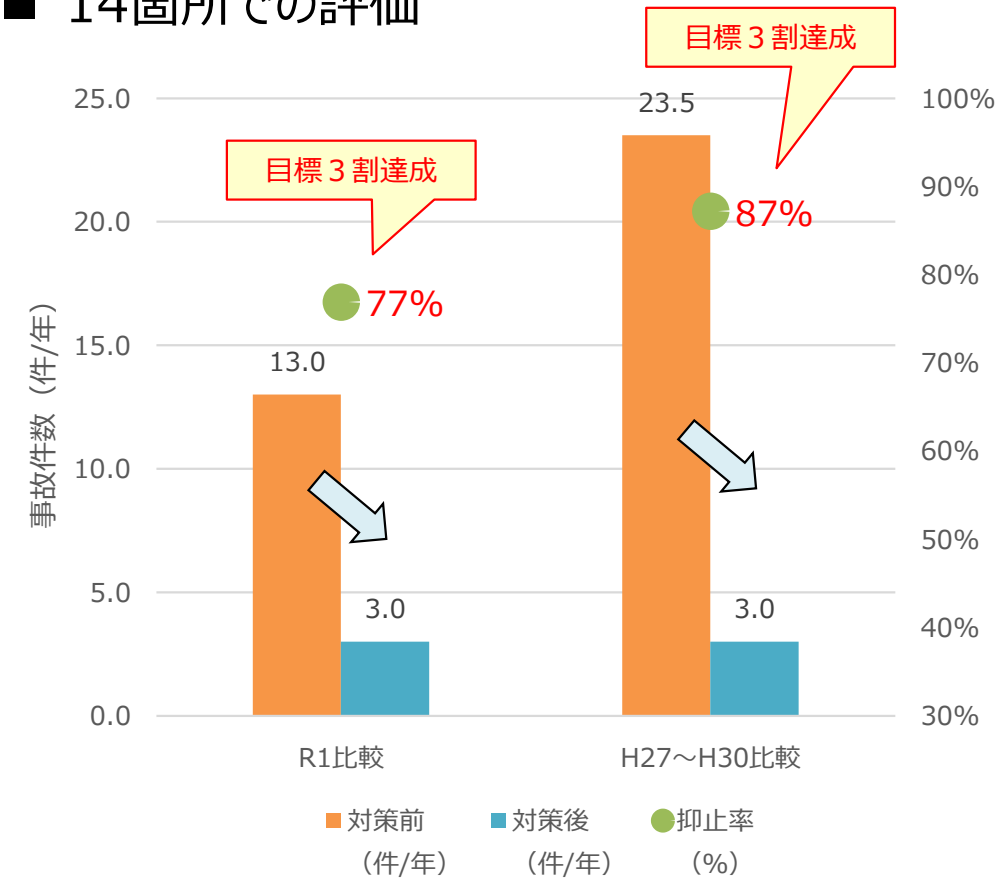
■ 事故対策実施時期と事故データ評価期間の考え方



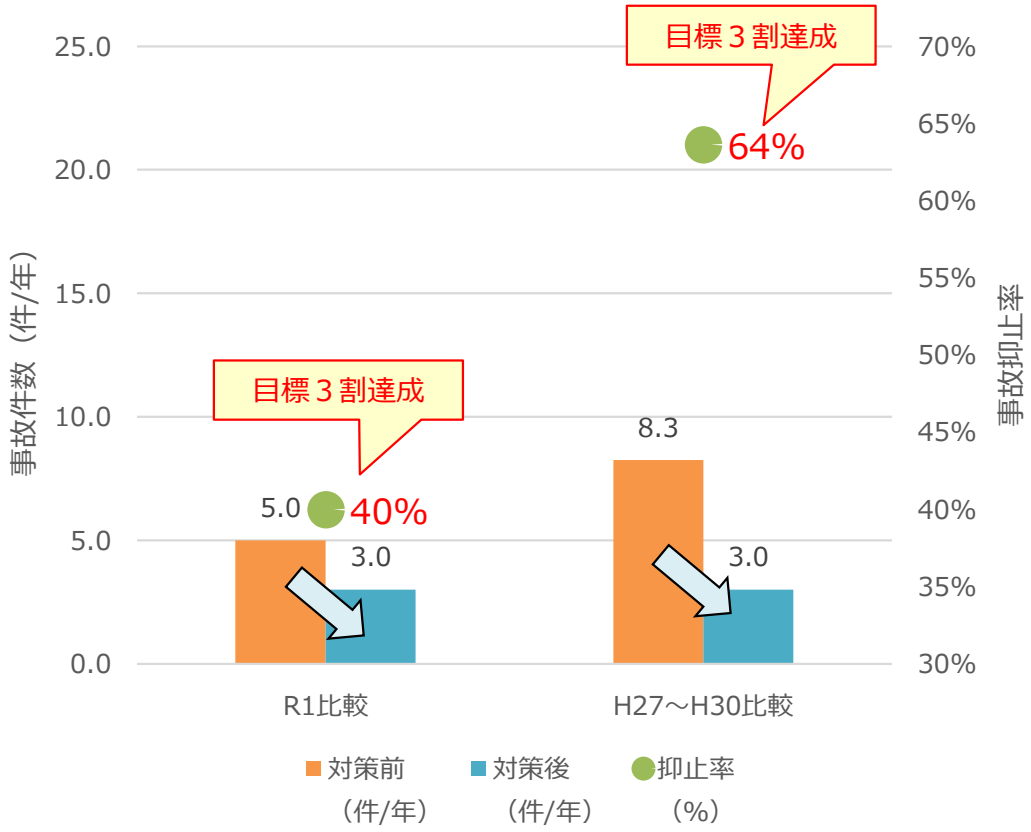
2．2)事故危険箇所の効果検証【全体評価】

- 対策実施中箇所と令和7年12月に対策が完了した箇所を除いた**14箇所を対象に効果検証を実施**。
- 14箇所を対象とした場合、77%~87%の事故抑止率となり、**抑止目標の3割を達成**。
- なお、14箇所のうち8箇所が令和7年中の対策であり、対策後の事故データの蓄積が少ないことから、対策後に1年以上事故データが蓄積された6箇所を対象とした場合、40%~64%の事故抑止率となり、**抑止目標3割を達成**。 ⇒今後も引き続きモニタリングを実施

■ 14箇所での評価



■ 6箇所での評価（対策後事故データ1年以上）



出典：R7：警察提供事故データ、R6以前：交通事故・道路統合DBデータを使用（イタルダ）

2．2）事故危険箇所の効果検証【全体評価】

番号	道路種別	路線名	交差点/単路	箇所	対策実施状況	対策完了時期 ※予定含む	対策実施内容	対策前 (R1) (件/年)	対策前 (H27～H30) (件/年)	対策後 (件/年)	差分 (R1比較)	減少率 (R1比較)	差分 (H27H30比較)	減少率 (H27H30比較)
1	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	一関市山目字才天227番地（十二神交差点）	対策完了	R6.11完	交安Ⅱ種対策	1.0	2.25	0	-1.0	-100%	-2.25	-100%
2	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	奥州市水沢佐倉河字道下67番地1（道下交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策	0.0	1.25	0	0.0	–	-1.25	-100%
3	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	北上市村崎野19地割117番地2（北上工業団地口交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策	2.0	1.50	0	-2.0	-100%	-1.50	-100%
4	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	一関市山目大槻90番地（大槻交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策	0.0	3.50	0	0.0	–	-3.50	-100%
5	一般国道（指定区間内）	4号	単路	盛岡市津志田町一丁目	対策中	R8年以降	交差点改良							
6	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	盛岡市神子田町8番40号（南大橋交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策（Ⅰ種対策検討中）	5.0	3.50	0	-5.0	-100%	-3.50	-100%
7	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	盛岡市茶畑1丁目19番1号（茶畑交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策	1.0	2.50	0	-1.0	-100%	-2.50	-100%
8	一般国道（指定区間内）	4号	交差点	北上市藤沢20地割131番地1（北上バイパス北口交差点）	対策完了	R7.7完	交安Ⅱ種対策	0.0	1.25	0	0.0	–	-1.25	-100%
9	一般国道（指定区間内）	46号	交差点	盛岡市中太田屋敷田4番地（深持交差点）	対策完了	R7.12完	改築							
10	一般国道（指定区間内）	46号	交差点	盛岡市向中野三丁目1番18号（本宮交差点）	対策完了	R6.10完	交安Ⅱ種対策	0.0	2.00	2	2.0	–	0.00	0%
11	一般国道（指定区間内）	45号	単路	大船渡市立根町字堰口23番地57付近	対策完了	R7.10完	交安Ⅱ種対策	0.0	1.50	0	0.0	–	-1.50	-100%
12	一般国道（指定区間内）	45号	交差点	大船渡市盛町字権現堂1番地4（権現堂交差点）	対策中	R8年以降	交差点改良							
13	一般国道（指定区間内）	45号	交差点	九戸郡洋野町第24地割156番地1（緑ヶ丘交差点）	対策完了	R7.3完	交安Ⅱ種対策 歩道整備	0.0	0.25	0	0.0	–	-0.25	-100%
14	一般国道（指定区間外）	107号	交差点	北上市和賀町堅川目第1地割184番地5（堅川目工業団地入口）（交差点名なし）	対策完了	R4.11完	交安Ⅱ種対策	0.0	0.75	0.00	0.0	–	-0.75	-100%
15	一般県道	衣川水沢線	交差点	奥州市水沢字久田14番地7（水沢小学校西）（交差点名なし）	対策完了	R4.10完	交安Ⅱ種対策	2.0	1.25	0.67	-1.3	-67%	-0.58	-47%
16	一般県道	盛岡滝沢線	単路	盛岡市青山二丁目24番15号（盛岡西警察署前）から盛岡市西青山二丁目19番35号（スーパーアークス前）まで	対策完了	R4.6完	交安Ⅱ種対策	1.0	1.50	0.33	-0.7	-67%	-1.17	-78%
17	一般県道	久田笹長根線	交差点	北上市相去町七里1番地10（交差点名なし）	対策完了	R4.7完	交安Ⅱ種対策	1.0	0.50	0.00	-1.0	-100%	-0.50	-100%
合計								13.0	23.5	3	-10.00	-77%	-20.5	-87%
合計（1年以上蓄積）								5.0	8.3	3.0	-2.00	-40%	-5.3	-64%

：対策後1年以上経過　：R7.11までに対策完了　：R7.12以降に対策完了・対策中

出典：R7：警察提供事故データ、R6以前：イタルダ統合データ

2．3）事故危険箇所の効果検証【個別評価】①国道4号　一関市山目【十二神交差点】

国土交通省
事故危険箇所

- 十二神交差点では、下り線交差点付近の追突事故と交差点内の右折事故が発生。

➡ **交安Ⅱ種対策（路面標示）による追加対策を実施し、令和６年11月完成。**

対策内容

対策1：減速路面標示の設置　・・・速度抑制効果に加え、交差点に対する注意喚起を向上
対策2：「追突注意」「対向車注意」の設置　・・・前車や右折時の対向直進車に対する注意喚起を向上
対策3：右折指導線の設置　・・・右折待ち位置の明確化に加え、対向直進車の注意喚起を向上



対策前





対策後



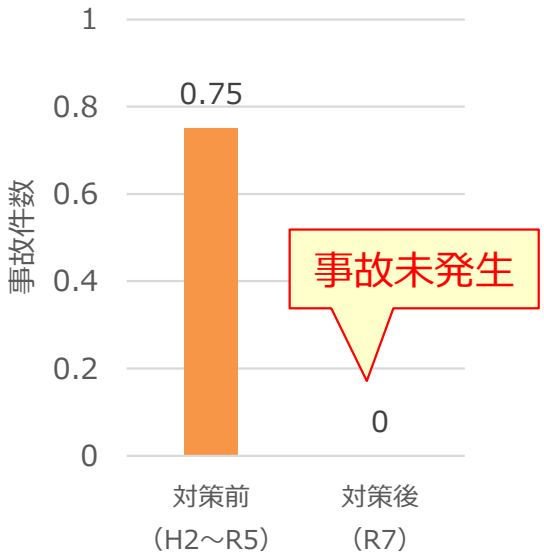


2．3）事故危険箇所の効果検証【個別評価】①国道4号　一関市山目【十二神交差点】

国土交通省
事故危険箇所

- 十二神交差点では、交安Ⅱ種対策実施後の**令和７年において事故は発生していない。**
- また、対策を実施した北側流入部（対向車注意の路面標示・右折導流線設置）及び南側流入部（減速路面標示・追突注意の路面標示）急挙動発生率が**“減少”**しているが、速度低下は確認されていない。 ⇒**継続的にモニタリング**を実施していく。

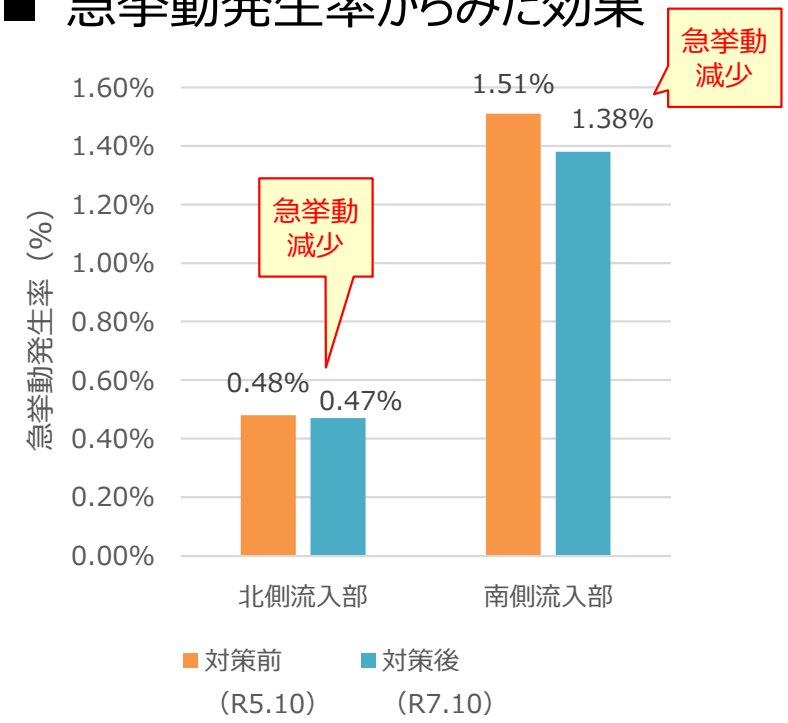
■ 事故件数からみた効果



分類	事故類型
対策前	・車両相互・追突（3件）
対策後	※R7は事故なし

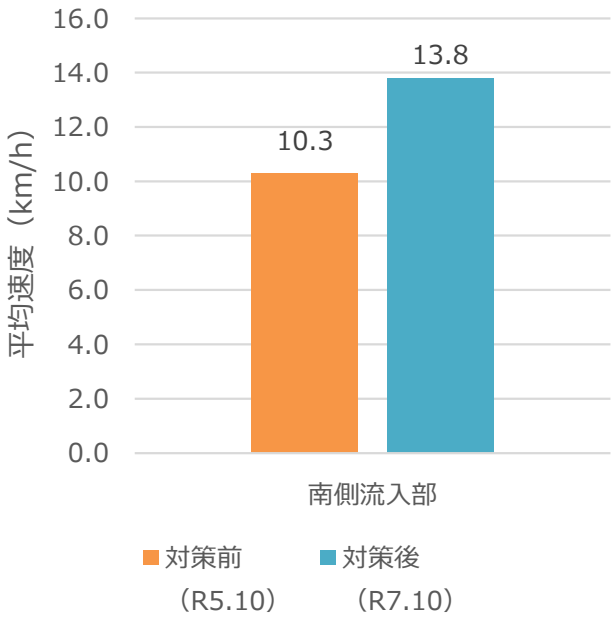
【算定条件】
・R2～R5：交通事故・道路統合DBデータを使用（イタルダ）
・R7：警察提供データ

■ 急挙動発生率からみた効果



【算定条件】
・ETC2.0データを使用
・対策内容を考慮し、北側流入部は、交差点中心から約30m、南側流入部は、交差点中心から200mの急挙動データを使用
・前後加速度-0.3G以下の急挙動データを使用
・急挙動発生率（%）
＝前後加速度発生回数/ETC2.0取得サンプル台数
【取得サンプル数】
〇北側流入部　・対策前：22,777台　対策後：17,078台
〇南側流入部　・対策前：19,975台　対策後：14,871台

■ 速度抑制効果



【算定条件】
・ETC2.0データを使用
・交差点中心から100mの速度データを使用
・直進方向の車両の平日平均速度を使用
・オフピーク時間である10時～16時の速度データを使用
【取得サンプル数】
〇北側流入部　・対策前：10,310台　対策後：17,078台
〇南側流入部　・対策前：7,265台　対策後：5,649台

2．3）事故危険箇所の効果検証【個別評価】②国道46号　盛岡市向中野三丁目【本宮交差点】

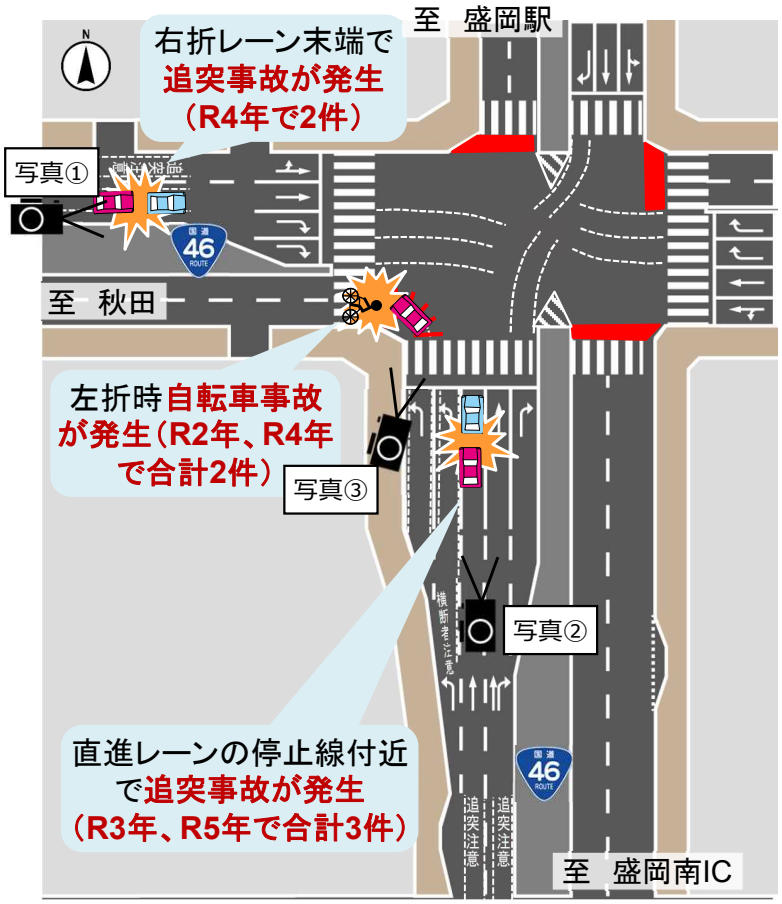
国土交通省
事故危険箇所

- 本宮交差点では、横断自転車との左折時事故や追突事故が発生。

➡ **交安Ⅱ種対策（路面標示）による追加対策を実施し、令和６年10月完成。**

対策内容

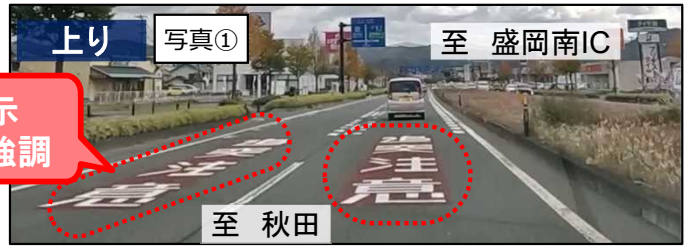
対策1：「横断者注意」「追突注意」の増設・強調　・・・横断者や前車に対する注意喚起を向上
対策2：減速路面標示ドットラインの延伸　・・・速度抑制効果に加え、交差点に対する注意喚起を向上
対策3：横断歩道直前のカラー舗装復旧　・・・横断歩道直前において、横断者に対する注意喚起を向上



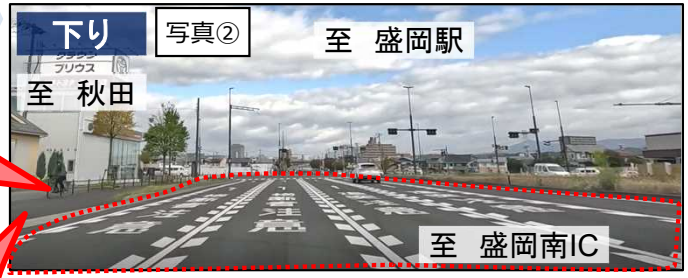
対策前



対策後



対策1：路面標示（追突注意）の強調



対策1：路面標示（横断者注意・追突注意）の増設

対策2：減速路面標示ドットラインの延伸



対策3：横断歩道手前のカラー舗装復旧

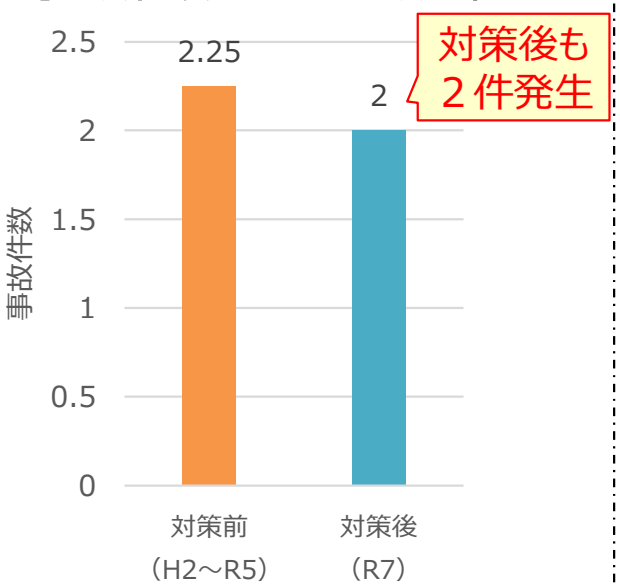
至　盛岡南IC

2．3）事故危険箇所の効果検証【個別評価】②国道46号　盛岡市向中野三丁目【本宮交差点】

国土交通省
事故危険箇所

- 本宮交差点では、交安Ⅱ種対策実施後の**令和７年において事故が2件発生**。
- 南側流入部（減速路面標示・横断者注意の路面標示・カラー舗装）では、**急挙動発生率が“減少”**するとともに、左折方向、直進方向ともに速度がやや低下。
- 西側流入部（追突注意の路面標示）の**急挙動発生率が“減少”⇒継続的にモニタリング**

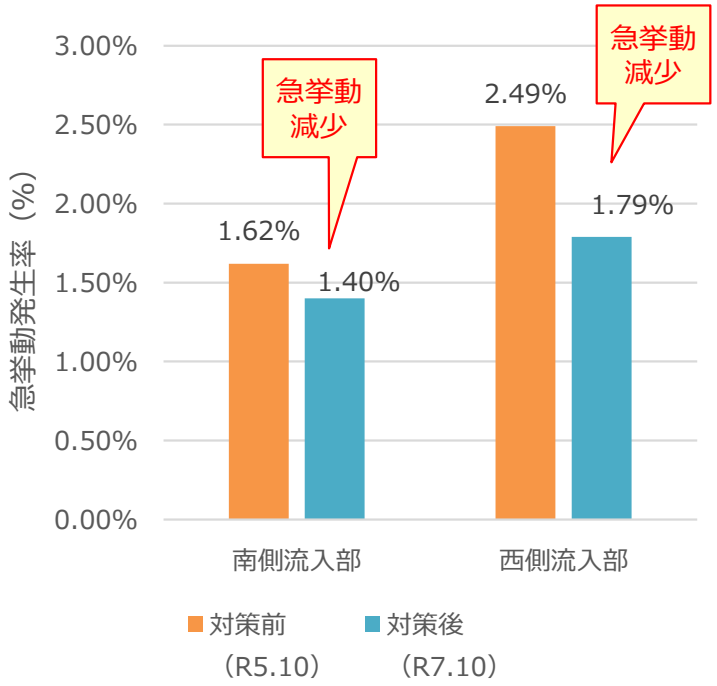
■ 事故件数からみた効果



分類	事故類型
対策前	・車両相互・追突（5件） ・車両相互（自転車）左折（2件） ・出合頭・右折（それぞれ1件）
対策後	・車両相互・追突（1件） ・車両相互（自転車）左折（1件）

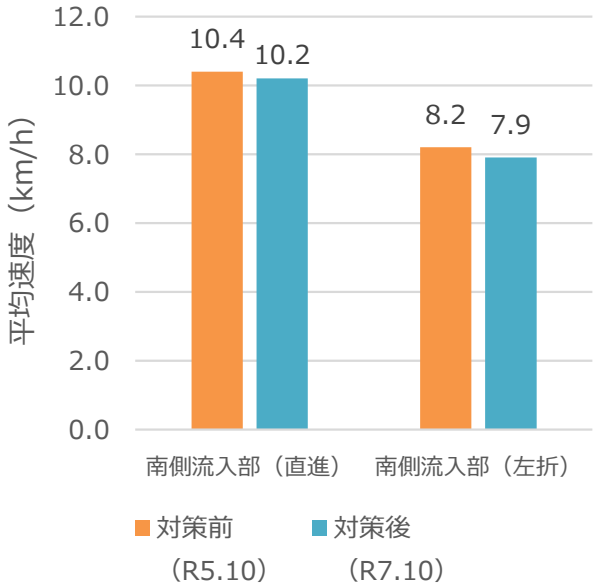
【算定条件】
・R2～R5：交通事故・道路統合DBデータ（イタルダ）
・R7：警察提供データ

■ 急挙動発生率からみた効果



【算定条件】
・ETC2.0データを使用
・南側流入部、西側流入部ともに、交差点中心から約200mの急挙動データを使用
・前後加速度-0.3G以下の急挙動データを使用
・急挙動発生率（%）
＝前後加速度発生回数/ETC2.0取得サンプル台数
【取得サンプル数】
〇南側流入部　・対策前：18,451台　対策後：18,552台
〇西側流入部　・対策前：11,593台　対策後：12,339台

■ 速度抑制効果

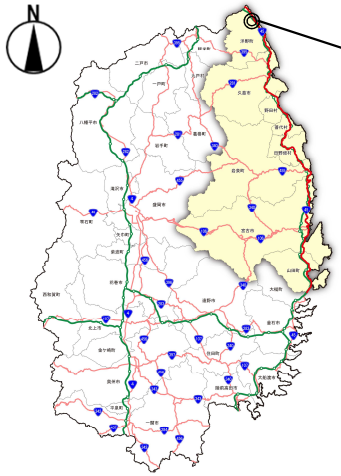


【算定条件】
・ETC2.0データを使用
・直進方向は、交差点中心から100mの速度データ、左折方向は、交差点中心から40mの速度データを使用
・直進方向の車両の平日平均速度を使用
・7時～19時の速度データを使用
【取得サンプル数】
〇南側流入部　・対策前：9,092台　対策後：9,389台
〇西側流入部　・対策前：3,012台　対策後：3,148台

2．3）事故危険箇所の効果検証【個別評価】③国道45号 九戸郡洋野町第24地割【緑ヶ丘交差点】

国土交通省
事故危険箇所

- 洋野町の中心部に位置する当区間は、通学路指定されており、沿道に商業施設等が多くあるが、片側にしか歩道が整備されておらず、**歩道のない箇所の通行や乱横断**が行われており危険な状況。
- 交安Ⅱ種対策（**路面表示**）及び**歩道整備**工事前後の事故件数・事故類型の変化やアンケート結果から効果検証を実施。



【対策概要】
・減速路面表示、交差点注意の設置
・歩道整備
【事業実施状況】
・R3 新規事業化
・R3 測量・設計・用地買収
・R4 ～ R7.3.21 工事

■ 事故危険区間設置当時の状況

事故危険区間選定要件	（１）事故データから見た事故危険区間
対策前4年間の事故件数（H27-H30）	2件/4年

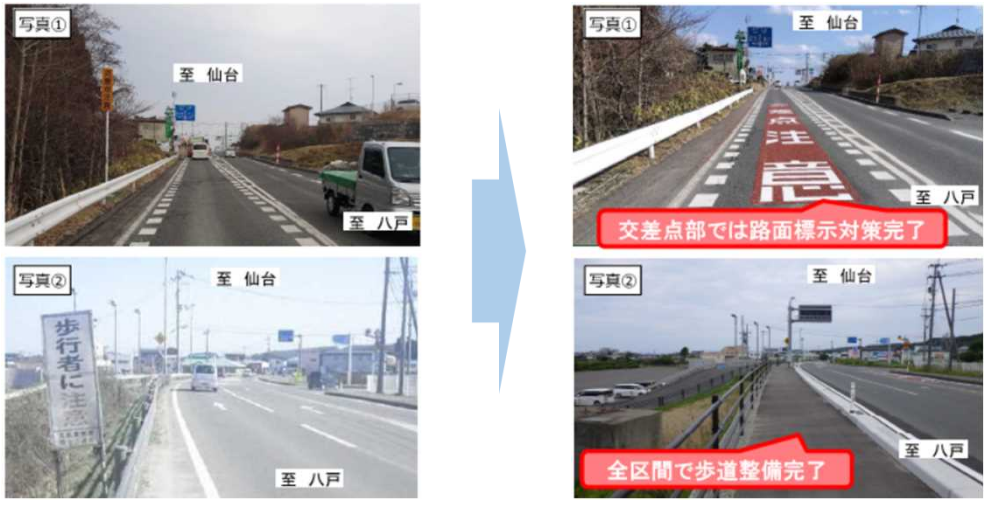
【効果検証方針】
・対策後（R7.4～R7.9）の事故件数・事故類型・急挙動発生率の整理
・Webアンケート結果の整理

■ 対策内容



減速路面標示・交差点注意の設置により、交差点に対する注意喚起を図る。
両側の歩道整備により、通学児童など歩行者の安全・安心な通行空間を確保する。

出典：地理院地図に道路情報等を追記して記載



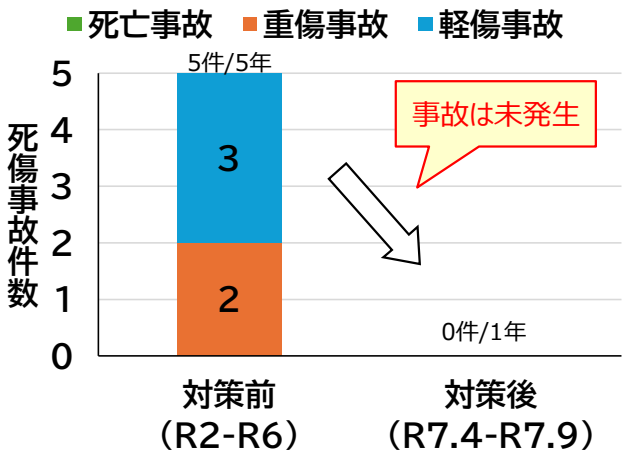
整備前　　整備後

2．3）事故危険箇所の効果検証【個別評価】③国道45号 九戸郡洋野町第24地割【緑ヶ丘交差点】

国土交通省 事故危険箇所

- 洋野町の中心部に位置する当区間では、今回の事故対策との関連性がある**出会い頭や人対車両（横断中）の事故を含め、対策後発生していない**ため、安全性の向上が確認できる。
- **急ブレーキの発生件数は減少**し、より**強い急ブレーキの発生割合は減少傾向**。
- Webアンケートの結果では、**「安全になった」「走りやすくなった」と約7割の方が回答**。
  ⇒事故発生状況および、Webアンケート等の結果からも対策の効果を確認。

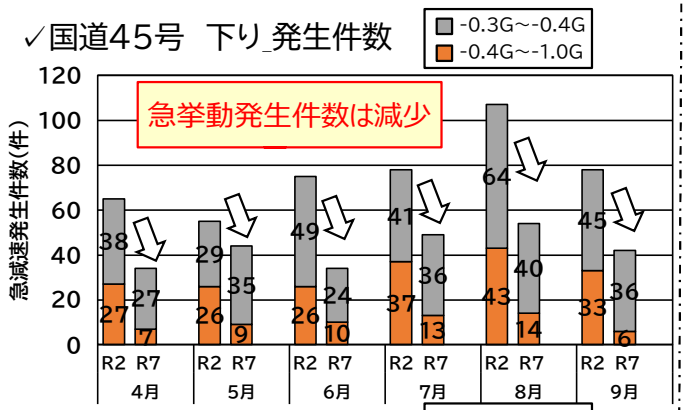
■ 事故件数からみた効果

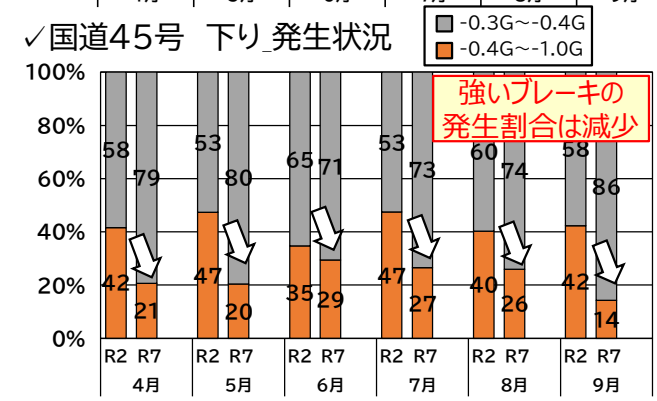


分類	事故類型
対策前	・R2・人対車両・横断中（1件） ・R2・車両相互・出会い頭（1件） ・R4・車両相互・出会い頭（1件） ・R4・車両相互・右折時（1件） ・R5・人対車両・横断中（1件）
対策後	未発生

【算定条件】
・イタルダデータ（R2-R6）
・県警事故データ（R7.4-R7.9）を使用

■ 急挙動発生状況からみた効果

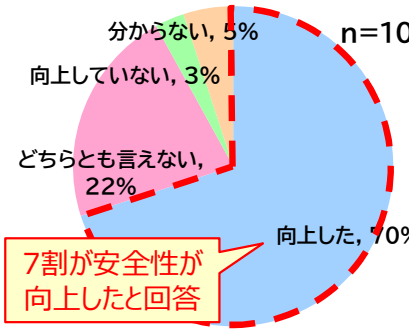




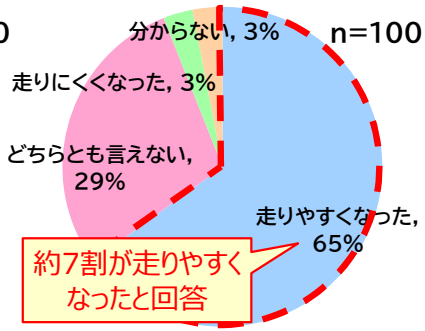
【算定条件】
・ETC2.0プローブデータ 様式1-4、2-4
（R2.4~9、R7.4~9）
・交差点中心から300m
・情報件数
（R2.4-9合計:29273件、R7.4-9合計:12674件）

■ アンケート集計結果

※整備前・整備後どちらも通行したことがある方への設問



▲安全性の向上について



▲走りやすさの変化について

■ 道路利用者からの声



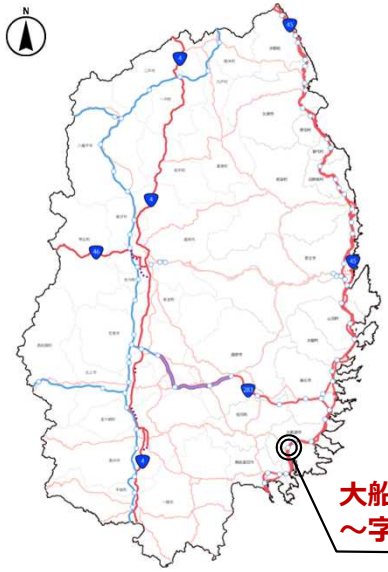
【整備によって改善されたこと】
- 歩行者用のスペースが確保され、お互いに安心できる。
- 道路が広くなり窮屈感・圧迫感が減った。
- 路面帯の赤文字、ラインに余裕が出て見通しが良くなったと思う。
- スピードへの注意力が増し、安全に配慮できる度合いが増した。

【新たに危険だと思う事象】
- 八戸方面から左折しようとすると、横断歩道が見えにくい。
- 速度超過の車が増えて危険を感じた。

2．3）事故危険箇所の効果検証【個別評価】④国道45号　大船渡市立根町字堰口23番地

国土交通省
事故危険箇所

- 立根町字堰口～字堀之内では、**自転車との右折事故や交差点付近の追突事故**が発生。
- **右折指導線、ラバーポール設置**の対策前後に実施した挙動調査より、効果検証を実施。



【対策概要】
- 上下線に「追突注意」路面標示設置
- 交差点内に右折指導線の設置
- ショートカット防止のラバーポールを設置

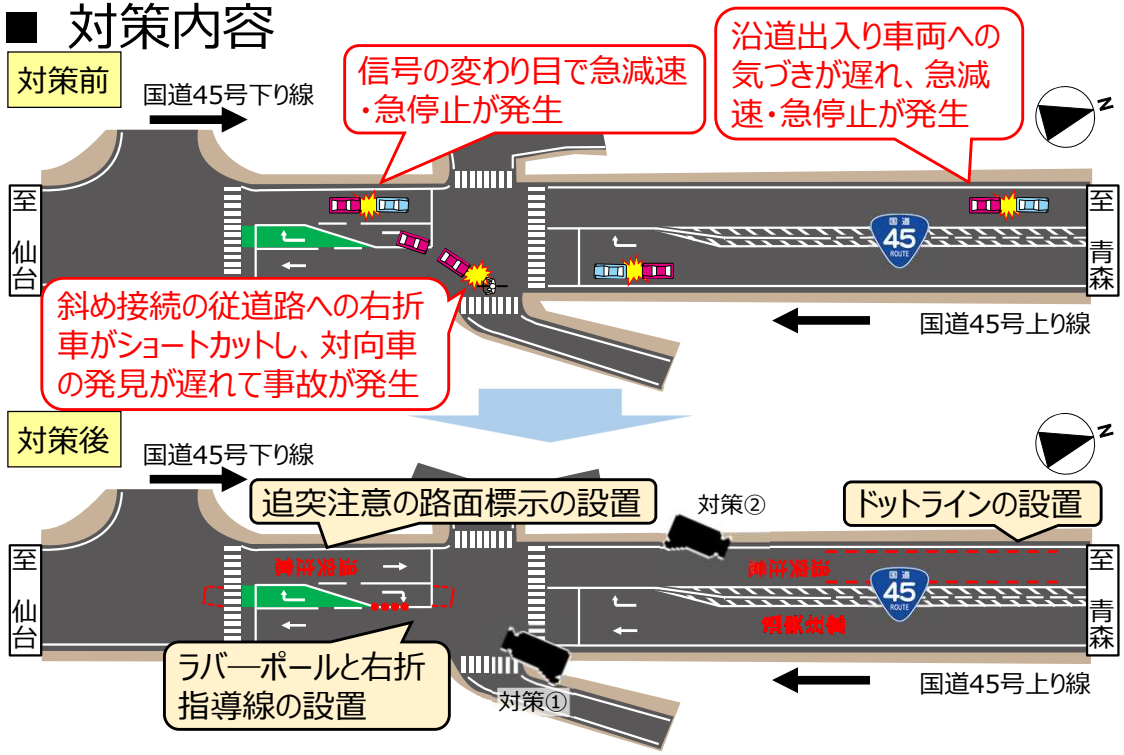
【事業実施状況】
- R3年に事故危険区間に選定
- R7年10月対策実施

■　事故危険区間設置当時の状況

事故危険区間選定要件	（2）潜在的な危険区間
対策前4年間の事故件数（H27～H30）	6件/4年（死傷：5件、重傷：1件）

【効果検証方針】
・対策前後の交通挙動調査結果を整理

■　対策内容





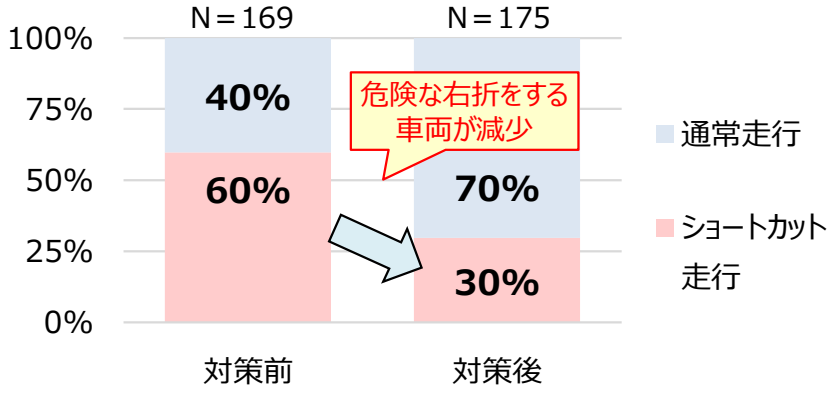


2．3）事故危険箇所の効果検証【個別評価】④国道45号　大船渡市立根町字堰口23番地

国土交通省
事故危険箇所

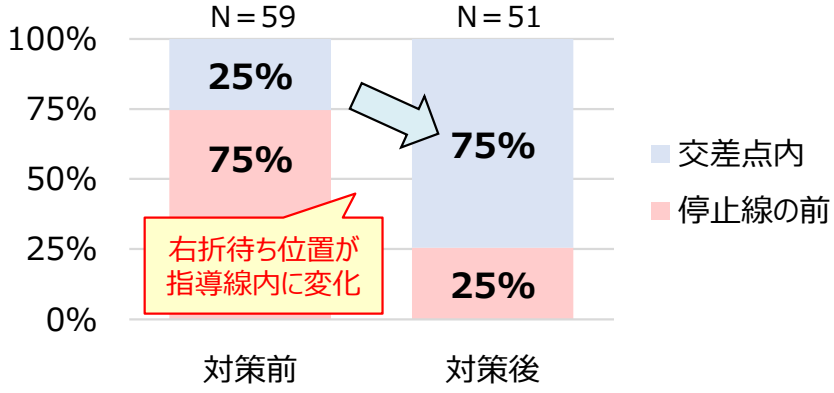
- 大船渡市立根町では、ラバーポール・右折指導線の設置により**危険な交差点内のショートカット走行の減少**や、**右折車両の停止位置の改善効果が確認**された。
- 対策直後であり事故件数による評価が難しいため、**来年度以降に再度効果検証を実施予定**。

■ 危険な右折車両の割合



・出典：交通量調査結果を使用
（対策前：R7.10.2（木）7･8時台、対策後：R7.11.28（金）7･8時台）
・ショートカット走行：交差点手前で中央線をはみ出して右折した車両を対象

■ 右折待ち位置の変化

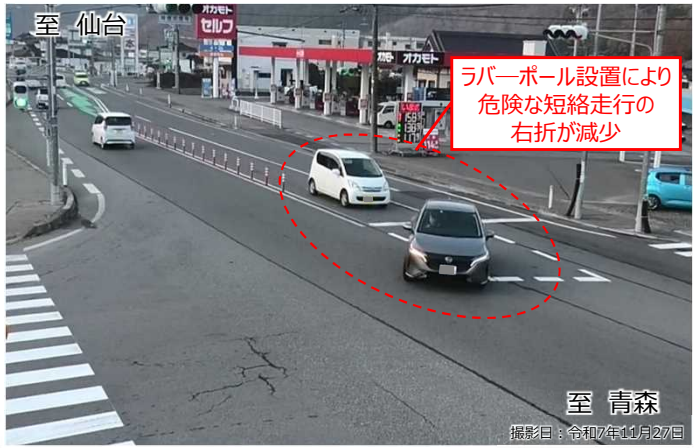


・出典：交通量調査結果を使用
（対策前：R7.10.2（木）7･8時台、対策後：R7.11.28（金） 7･8時台）
・右折待ち位置：一時停止の右折車両の右前輪の位置を集計

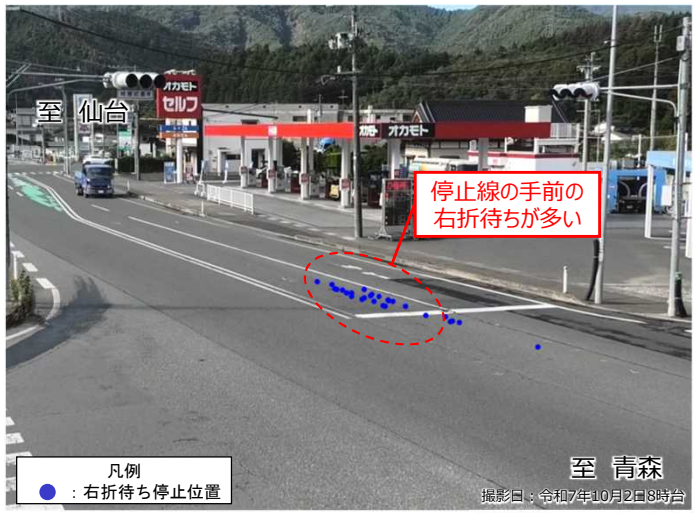
□対策前



□対策後



□対策前



□対策後



2．5）事故危険箇所の今後のスケジュール

国土交通省

- 今回は、事故危険箇所の対策状況・効果検証結果の報告を行った。
- 次回は、対策箇所の実施状況等について、継続的に報告予定。

■スケジュール（案）

時　期	内　容
令和7年7月16日～26日 （第1回安推連（書面））	• 事故危険箇所の対策進捗状況の報告 • 効果検証方針の審議
令和8年2月 （第2回安推連）	• 対策状況・効果検証の結果等について報告
令和8年度以降	• 対策箇所の実施状況等を継続的に報告予定